京城日報

二十八日夕刊

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介

◎黎元洪氏に復職相談

段祺瑞氏は尙ほ馮國璋氏の上京を見ざるに依り再び黎元洪氏を大總統に推して北方を固むる決心にて黎元洪氏と密々協議中なり徐世昌、熊希齡、湯化龍、梁啓超氏等の黎氏を訪問し居れるも其內相談なる可し南京に於ても馮國璋氏は斷然北上を中止すべしと信ぜられつゝあり（北京特電）

◎湖南省獨立せんとす

湖南省が共和を宣言し獨立するは殆んど疑ふ可からず岳州鎭守使吳光新氏は急遽上京湖南鎭壓策を講じ軍費三十萬元の支出を乞はんとす（北京特電）

◎廣東政府樹立準備

孫文氏等は廣東共和政府の設置は刻下の急務なりとの宣言を發し同時に各省に通電して聯合同盟す可しと述べたるが段政府の見込にては右聯合に贊成するものは多くも二三省を超へざる可しと（北京特電）

◎段內閣の民黨壓迫

今後益々武斷政略を執らん

段內閣は民黨が愈々獨逸と結託して各國の同情を失せるに乘じ各省民黨の壓迫を計畫せり先づ態度曖昧なる省長督軍を交迭し北方の兵を率ふる者をして其後任に當らしむ可し即ち廣東省長に劉世鈞氏を廣西省長に朱慶瀾氏を任命せるは其第一步と見る可し今後益々武斷政略を執り壓迫を加ふ可しと（北京特電）

◎段內閣大借欵交涉

段內閣は對獨宣戰發布後直ちに一億又は二億の大借欵の正式交涉を四國銀行に對して行ふ可し（北京特電）

◎宣戰案と張勳の警戒

張勳氏の妻子は二十五日獨逸兵營を出で和蘭兵に護衛されつゝ天津へ赴けり之れ即ち張勳氏が對獨宣戰の前途に恐怖を抱き先づ妻子を處分して逃亡の準備を爲せるものと信ぜらる（北京特電）

◎淸室優待未解決

淸室優待問題は各種の事情纏綿し猶未だ解決を見るに至らず（北京電報）

◎智利內閣總辭職

智利國內閣は現歐洲戰亂に對する同國の中立問題解決困難の爲め遂に二十四日總辭職をなせり（紐育電報）

◎露軍又も陣地撤退

露軍はスタニスラウスを撤退したり（露都電報）

◎露軍總攻擊開始

國內混亂に對する最善手段

露國はガリシヤに於ける獨軍攻勢の惹起せし災害を回避せん爲め全戰線に亙りて總攻擊を開始せり而して露國は總攻擊に出づる事を以て國內混亂狀態に對する最善の治療法と思惟せり（倫敦電報）

▲露國はガリシアに於ける獨軍の攻勢を阻止すると共に戰局を有利に導く爲め全戰線に亙りて總攻擊を開始せり（露都電報）

▲露國は全戰線の總攻擊に出づるを以て國民の敵愾心を振起し併せて軍隊の士氣を鼓舞し得べく國內現下の混亂狀態に對する賢明にして思慮ある最善の治療法なりとなすもの、如し（露都電報）

◎露首相の鐵血政策

露國首相ケレンスキー氏は曰く露國刻下の危急を救はん爲には鐵血政策を必要とし且つ忍ばざる可らずと（露都電報）

◎拓殖長官は白仁氏か

關東都督たる可き滿鐵總裁中村雄次郞男は二十七日東京發二十八日門司より嘉義丸に乘り込み三十日歸連の筈なるが白仁民政長官も亦嘉義丸にて三十日歸任の筈なり白仁氏の拓殖局長官たるは最早疑ひなき處にして氏は新民政長官の任命及び來任迄旅順に留り事務一切を引繼たる後當地を去る事となる可し（大連特電）

◎牧工兵小佐來鮮

參謀本部陸地測量部班長工兵少佐牧猛氏二十八日午前來釜午前十時半發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

◎賴倫侯令嗣來鮮

德川賴倫侯嗣子德川賴貞氏は大連北京靑島等見學の爲め二十八日朝連絡船新羅丸にて上陸午前十時半發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

◎愛知視察團退鮮

愛知縣師範學校同窓會主催敎育視察團一行二十三名は廿七日朝來釜市內を視察し同夜八時三十分出港連絡船高麗丸にて歸縣せり（釜山特電）

◎京電株主總會

二十七日午前十時京城電氣株式會社總會を生命保險協會に開き年九分の今期利益配當案を可決し十一時散會せり（東京特電）

◎淸室處分如何

支那這回の復辟は全く張勳氏其他の主動により成立せしものにして淸室は頭初より何等の關係なかりしは一般の認むる處なりと雖も而も其發生當時又は其後に於て淸室として何等の處置態度を表示する處なかりしは張勳氏の力に依り萬一の幸を期したるの觀なしとせず故に一般輿論は淸室の受動者たりしと共に心中決して復辟を望まざりしに非らず唯だ事破れたる爲め之が罪を張勳氏に嫁せしものとなし從つて其處分に付ても段總理が天津に於て聲明せし如く寬大なるを得ざる可き狀態にあり即ち民黨は全然優待條件を廢止すべしと云ひ其他北洋派中亦再び斯る憂なき迄に處分せざる可からずと主張する者多く段總理は目下其腹心なる徐樹錚氏をして淸室處分問題の主任と爲し各方面との意見を徵せしめつゝあるが輿論已に此の如くなるを以つて最初の聲言の如く寬大なる能はざるべしと雖も南方不穩の際膝下に怨敵を作るは段氏として取らざる處なるべく又た信を重んずる段氏として全然前聲言の食言も爲し難かるべく加ふるに其の師事する徐世昌氏の切に運動するあり決して外間に風說せらるゝ如き嚴なる處分はなかる可く結局帝號を廢して頤和園に移居せしめ歲費四百萬を二百萬に減額する位が落ちなるべしと（北京）

◎兩鐵幹部協議

統一問題進む

鮮鐵併業に關する諸般協議及び事務引繼の用務を帶び目下滯京中の鮮鐵副總裁國澤新兵衛氏は久保庶務課長上田秘書役を帶同し二十八日午前十時龍山鐵道局に自動車を驅り階上長官室に於て大屋長官以下各課長正副參事等と會同種々協議したるが愈々廿八日を以て組大の打合せを了したる卅一日は午前より午前に亙り順次各課の事務引繼をなすべしと

◎測地課廢止期

臨時土地調査局にては昨年末測地外業終了せしを以て多數の同課員を罷免したるが其後同課の內業は着々進捗し其の進捗終了に從ひ冗員の退官を命じ今日に至れるため一時千餘名を算せし同課員も目下の所十餘名に減じ居れるが八月中旬を以て全く完了する由に付同時に中田課長以下退官し同課は廢せらるべし

□御料煙草下命

承る處に依れば聖上陛下には過般献上せる朝鮮產紙卷煙草の內忠州產黃色葉を材料とせるものゝ殊の外御意に叶はせ給ひ滯京中の長谷川總督に對して又復御下命あり、由て總督は直ちに大島副官をして其の旨總督府に通達せしめ更に一千本の謹製方を命じ來れるより總督府專賣課にては岡田技師以下技術員一同目下其の準備中なるが今回は前回に比し風味一層和かきものをとの御意ありし趣きなるやにて出來得る限り溫和のものを謹製する方針の由なるが其の品種は總督の歸任を待つて決定する事となる可し

◎橫斷航路試乘

朝鮮郵船會社にて試航す可き日本海橫斷航路平壤丸は既記の如く三十日淸津發元山經由敦賀に向ふ事となれるが總督府よりは本岡事務官試乘に決し三十日元山に赴き八月一日同地拔錨の筈なり

◎總裁金剛山行

東拓總裁石塚英藏氏は三十日午前九時二十分南大門驛發列車にて忍子夫人並に令息令孃同伴金剛山探勝の途に就くが船便の都合あれど約十日位の豫定にて往復し來るべし

◎羅南兵器廠長入京期

羅南兵器支廠出張所長砲兵少佐中村幸一氏は事務打合せの爲め龍山へ出張を命ぜられ二十九日午後五時十分南大門驛著入京八月四日迄滯在の豫定なりと

◎埼玉視察團來鮮

埼玉縣敎育鮮滿支視察團浦和中學校長等二十六名は八月二日東京出發五日午前入京し京仁間視察の上八日朝退京、其れより奉天、大連、旅順、北京、上海等を視察の筈なり

◎大分視察團動靜

二十七日夜入京したる大分縣敎育視察團一行二十名は二十八日市中の重なる學校官廳等を視察せしが同夜は京城在住大分縣人會主催にて午後七時より京城ホテルに於て歡迎會を開催し主客百餘名の出席者あるべしと因みに一行は二十九日仁川を視察し同夜九時四十分の列車にて北行すべしと視察團員の氏名左の如し

團長福田潤、團員一丸喜六、德丸喜藤次、渡邊喜郞、河野甚吉、河野盛、河野治策、吉本平男、中島穆、野田守、藤本長三郞、猪司豐男、江頭虎次郞、藤野次、桐畑津盛、宮本金六、宮崎省、白石繁松、廣瀨六三郞、安部時（上小學校長）

◎田中士官學校敎官赴任

龍山兵器支廠員より陸軍士官學校敎官に榮轉せる砲兵大尉田中良策氏は三十日午後八時龍山發列車にて赴任すべしと

◎淺岡氏神戶定住

廣江商會の支配人として商會主廣江澤次郞氏を補けて多年半島の製炭事業に縱橫の敏腕を揮ひたる淺岡重喜氏は今回廣江氏の事業計畫一進展と共に神戶に定住する事となり八月初出發すべしと

◎豚種改良計畫

京畿道畜產係にては五箇年計畫を以て管內に於ける豚種改良を企圖し目下各種の材料に依り之れが調査中なるが大正六年四月一日現在調査に由れば管內に於ける在來豚種六萬四千餘頭にして改良種即ち京畿道が普及せしめんとするバークシヤ種は七千三百九十四頭を算せる有樣に在り而して右改良の具體的計畫は追て發表を見るべき豫定なるが五箇年後に於て改良種七萬九千七百四十四頭を得る計畫なりと

米國軍事公債法

在紐育　切田太郞

京城の實業家諸氏より米國軍事公債即ち所謂自由公債の內容に付き屢々照會を受くるを以て一般參考の爲め其要點を摘錄すべし

之を歷史に徵するに國家の戰爭情態に入るや先づ軍隊を整へ尋で軍費の調達を謀るものとす然るに合衆國は此處に

▲一新例を開 けり、即ち千九百十七年四月六日「ウヰルソン」大統領は獨逸帝國に對する宣戰の布告に調印し後五日を經て四月十一日に至り軍事公債案を下院に提出し五十億弗を普通公債により廿億弗を大藏省證券に募集せんことを討議に附せり原案に多少の修正を加へて兩院を通過し四月二十四日大統領の裁可を仰ぎ此處に初めて法律となれり。此の如くにして米國議會は未だ軍隊に關する議案を決せざるに先ち尨大無比なる軍事費を可決し以て國力の

▲富强を宇內 に公表せり抑も今回の軍事公債法たるや七十億弗の（千九百十七年初めに於ける米國の國債は總計九億七千三百萬弗なり）を限度として公債發行の權能を政府當局に附與したるものにして之を英國が千九百十四年八月を經たる第一回軍事公債五億弗及び千八百六十年七月發行の米國南北戰爭の第一回の公債二億四千萬弗に比せば蓋し思ひ半ばに過ぐるものあらん今同公債の內容性質を示せば

▲聯合國側への貸付　今回の軍事公債中三十億弗は之を聯合國側への貸付資金に充て其殘額を以て合衆國の軍費に供すべきものとせり

▲諸稅免除　右軍事公債所有者は相續稅以外の諸稅は悉く之を免除せらるゝの特權を有し且つや若し今後歐洲戰爭中米國政府が三分五厘以上の高利公債を發行し爲めに該公債の下落を來すが如き場合には之を其高利公債と交換すべしとの政府の保證あり

▲權能の集中　大藏大臣は該軍事公債發行の時期及び金額（勿論七十億弗の範圍內による）に對しては絕對的の權能を附與せられ其の償還期限應募拂込の方法並に公債の募集分の方法を定むべきは勿論若し一般募集により其豫定額に達せざるべく即ち同法第一條に凡ての權能を大藏大臣に集中する旨を規定し唯年三分五厘の利率を超ゆるを得ずとの制限を設けたるなり

▲銀行關係　募集したる金額は大藏大臣の指定せる米國の銀行又は信託會社に預金することとし唯其預金額に制限を設けて預金者が引出したる金額と其銀行又は信託會社自身の應募額との合計を限度とせり是れ銀行資金の騰貴を來たし從て金融市場の擾亂を惹起するを恐れたるが爲めなり然り而して此場合に取扱銀行は政府の公金を受入るゝこととなるが故に米國公債其他の擔保品を政府に提供せざるべからざることに定めたり

▲外國貸付金に對する利子　聯合國側貸付金の利子步合は米國自由公債に對して支拂はるべき利率と同一とし外國政府よりの償還額は貸付金額より減額するを許さず然りと雖も大藏大臣は外國政府より償還期日の中途に於ても之に應じ得べく又自由公債償還の目的を以て外國公債の買戾をなし得ることゝせり

◎京畿蟲害猖獗

京畿道管內にては又復陽川郡及び坡州郡內に夜盜蟲發生し粟、稗、小麥、水稻等の被害甚しく其の被害面積一千二百三十四町步に亙り損害見積額二萬六千七十餘圓に達せり目下道に於ては郡職員關係面長等指導監督の下に警察官憲の援助を得耕作者をして共同驅除せしめつゝありと

◎東拓の監督機關

十月一日以降の東洋拓殖會社業務監督を聞くに朝鮮に於ける施設經營は總督府の監督を受け滿蒙にては關東都督府の監督下に屬すべきが其の一般的の監督官廳は政府の一部にて大藏省說ある由なれど多分新設の拓殖局之れに當る事となる模樣なり

◎東拓重役配置

東洋拓殖會社にては十月一日より本社を東京に移置する事となり居れるが其の本社の組織は未だ確定し居らざる模樣なれど多分總裁は貴族院の關係もあり一年の大半を東京生活となすべく又東京支社詰は理事松平直平子之れに當る事に內定子爵は九月中に京城を引拂ふべし而して東京支社詰めとしては淸水秘書役以下秘書室勤務者並に堀江庶務課長以下若干の庶務課員等なるべく又川上高瀨兩理事は鮮滿兩方面の事務を大體に於て區分せし上統督する事となるべきが多分川上理事は新任さるべき京城支店長並に在鮮各出張所長を監督すべく高瀨理事は奉天支店長並に滿洲各店を主宰すべし但し右は其の大體の役割にて重役は常に交互に往復し社務の協議をなすべしと

◎汚損紙幣燒却

朝鮮銀行にては二十八日午前十時より監理官代理並に大田理事中村熙務局長水上發行課長其他列席の上一圓の汚損銀行券八十一萬枚乃ち八十一萬圓並に滿洲に發行し居れる仕拂手形二萬七千二百圓合計八十三萬七千二百圓の燒却を行ひたり

◎橫斷航路反響

朝鮮郵船會社にては試航として來る八月一日元山港出航の平壤丸を敦賀に往復せしむる事となりたるが會社の該計畫裏日本沿岸各港に知了せらるゝや金澤、境、伏木各港より其の寄港を會社に要望し來る者多く其の反響の著しきに會社も豫想外の思ひをなし居るに似たり尙ほ平壤丸には三等船客の便乘を概ね謝絕し中鮮物產物等の多量を積載し往航すべく復航も敦賀に於ける荷扱店大和田氏に於て貨物蒐集中の由に付相當額に達すべしと

◎農銀總會終了

漢湖農工銀行第二十一期定時株主總會は二十七日午後二時より同行樓上に於て開會出席及び委任株主百五十四人株數三萬九千七十五株にして總督府よりは野坂事務官列席し遠山支配人より期營業概況報告後白完赫氏より財產目錄貸借對照表承認を求め次で利益分配案に入り年五分配當を決議し終つて金完奎金容泰兩監查役の任期滿了に付選擧に移り二氏再選同四時半無事總會を終了せり

◎石塚總裁張宴

石塚東拓總裁は二十七日夜千代本に入京中の國澤副總裁一行を招待張宴せり

◎若葉會七月會

京城若葉會は本月二十九日午後七時より旭町一丁目白水に於て七月例會を開く事となれるが目下暑中にもあり幹事に於て種々考案の末南山の松籟下に園遊會式にて賑々しく半夜の淸興を添ふる由會費は二圓（當日持參）なりと因に同會の發起人として當初より頗る斡旋に努めたる淺岡重喜氏近く神戶へ移轉に付當日は同氏の爲め送別會をも兼ねる由なり

◎京奉鐵道開通

水害の爲め不通となりたる京奉鐵道新民府白旗舖間は破損箇所應急修理成り二十六日より急行列車を除き各列車の運輸復舊せり急行列車は來週より運轉せしめ得るやう線路の改善に努力しつゝありと云ふ

◎鴨綠江製材分工場

吉林に新設さる

鴨綠江製材公司は大森林を有する吉林省の前途極めて有望なるに着目し曾て人を派し實地調査中なりしが其結果實にその豫想以上なるを確め得たるを以て愈々吉林に支店を設置し既に從來同地に於て製材業を經營し來れる吉林貿易公司を買收し目下大倉組土木部の手にて分工場建築中なれば遲くも結氷期前には事業開始の運びに至るべしと尤も事業開始の上は結氷期と雖も製材を繼續し得るの設備を有するを以て其製材能力は蓋し莫大なるものなるべく從つて今後益々多忙を極めんとしつゝある滿洲木材界は少からざる變調を來すべく殊に船腹拂底の極度に達せる際とて北海材に對する一大强敵たるべし（吉林）

◎民政長官後任　何如

總督府參事官法學博士秋山雅之介氏は新に拓殖局長官に決定せる白仁武氏の後を襲ぎ關東都督府民政長官に任ぜらるゝ事に決定せる旨傳へられつゝあるが一方元拓殖局副總裁たりし宮尾舜治氏に決定したりとの說もありて未だ判明ならざるが如し（東京電報）

【大邱】

▲慶北地籍調査進捗　慶北道內に於ける地籍調査は目下着々進捗を示しつゝありて先般來軍威郡方面に出張中なりし臨時土地調査局第四班小幡主幹一行は二十五日を以て同郡に於ける觀察を完了し二十六日義城郡に入れりと

▲浦項有志の陳情　迎日郡浦項有志中谷竹三郞及び服部伊平氏は二十六日來邱直に鈴木道長官を訪問し浦項に於ける三大問題たる水利組合事業、築港、鰊刺網善後策に就き陳情するところあり

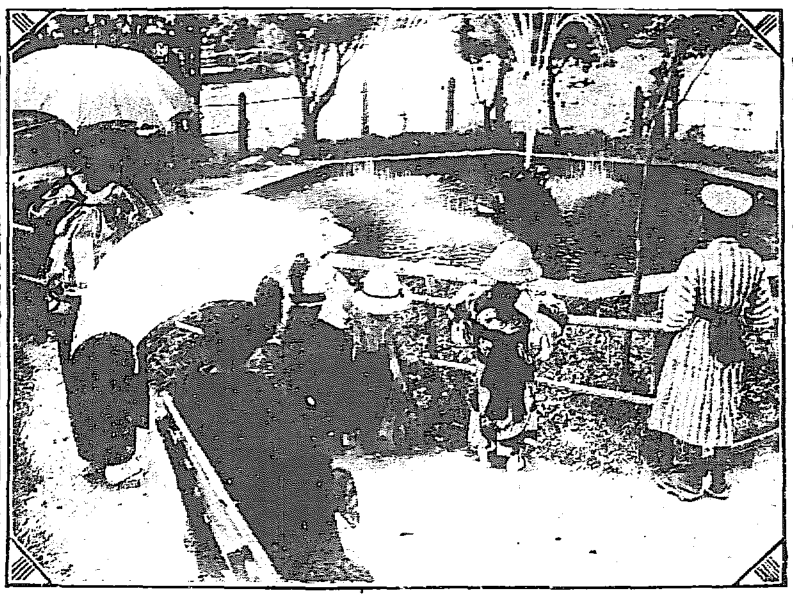
▲警務部長歸省　慶北警務部長憲兵大佐服部米次郞氏は三十日より三週間の豫定にて家族同伴鄕里三重縣に歸省すべし。

人事往來

▲鈴木繁氏（淺野探金所長）　二十七日朝退京

▲大塚常三郞氏（第二課長）　龜浦水利組合竣成式臨席に兼て釜山府及び水利組合事業視察の爲め二十八日同地に出張

▲福井武二郞氏（新安州黑鉛鑛業家）　九州大阪東京方面旅行中の處一兩日前入京山本旅館へ月末まで滯京の筈



噴水のしぶき 二十八日南山公園にて

獨探及び露無政府黨一派 遣露米國特使を襲ふ

列車の通過前橋梁及び退路の軌道に放火せしも辛く危難を免る

過般遣露米國特使ルート氏一行の乗れる列車がウイアトカ河の橋梁を通過して露都に入らんとせる際獨探及び露國無政府黨の一派は之を豫知して一行を殺害せんとし橋梁に火を放ちたるが幸にして列車の機關手は危難を認めて列車を後退し兇徒は更らに列車の後を追うて其退路の軌道に放火したるも辛くも危難を免るを得たりと(東京特電)

音羽艦浮揚せん

目下盛んに引揚げの作業中

伊勢大王崎附近に於て坐礁せる音羽艦は目下盛んに引揚作業中にして確實に浮揚の見込なり(東京特報)

又も學生三名の慘死

武甲山中にて斷崖より墜落す

埼玉縣入間郡川越中學校四年生荒井三郎高山茂義同年生金井昇の三名は二十五日秩父登山を企て武甲山中にて道に迷ひ徘徊し遂に三十餘丈の斷崖より墜落し三名共枕を並べて慘死せり(東京特電)

盛夏には傷害事件が起り易い

自殺や他殺が水に依る事が多い

殺人とか傷害のやうな荒つぽい血を見る犯罪事件は夏に起ることが多い内地の關門地方では頃日毎日のやうに人斬り、殺人といつたやうなものが續發してゐるが朝鮮でも夏は

◇他の季節に 比較して傷害事件など少くないこれに就いて某警察官の談に、一體夏は燃ねつく程暑いものだから人の心も自然に焦立つて來て短氣に成り易い、殊に平素多少なり興奮し逆上し易い性質の者などは

◇俄かに發作 して狂態を演じ時に恐ろしい慘劇をさへ起す者がある何ぼ食物の加減や暑さ凌ぎの爲めだと言つて燒酎を呷るものがあるが彼れも傷害事件の原因をなすことが少くない。酒類を飲むと浮かれ出して用もないのに外出して納涼かた〴〵徘徊する、而して

◇出會ひ頭の 理由も譯もない衝突から傷害沙汰に及ぶ、角落衣も身輕であり肉身を露出して居るものが多く、寒い〳〵褞袍姿の結氷期頃に較べて輕便なものだからすべての動作が敏捷となる、而して勞働者などは年間中の最も

◇活動の時季 で汗塗れで活動しつゝあると同樣に氣分も荒ら立ち易く一寸したことにも喧嘩ひなど始まる、而して斯うした衝つたり突いたりして血を流す事件は鑛工や勞働者の多い工場又は鑛山漁場或は遊廓等のある所が最も多い倘斯う云ふ

◇慘劇を敢行 する犯人は大抵發狂者が多く又眞面目では容易に發生すべきものではない、夫れから夏の夜は深更迄納涼や散策をする者が多い爲め男女間の風儀を紊す事なども比較的に多い、冬季の頃多い放火事件が夏季に甚だ少いのも

◇時候の加減 とも見るべく其れに自殺や他殺の事件が水に依ることが多いのも面白い現象である殊に夏の頃の自殺者は殆ど水死が多く、火傷者なども滅多に無い

馴染客に振れて劇藥自殺

心の狹い娼妓

京城新町遊廓巴樓事奈良田定四郎方抱娼妓福岡縣三池郡大牟田市生れの正子事前原ゆく(二五)は二十七日午後八時半頃居室にて洗滌用のリゾール八十瓦計りを仰ぎて自殺を企て苦悶中を程經て家人が發見し同町杉原醫師を迎へて應急手當を加へしも言語通せず稍重態にて目下新町病院に入院加療中なるが生命には多分異狀なかるべしと原因に就き聞くに正子には昨年十二月以來龍山居住の京城電氣會社員荻原秀雄とて妻子ある馴染客あり夫婦約束迄言ひ交はしたるも荻原が餘り乘氣にならぬより頃日忌やみたつぷりの文句を並べ立たる遺書樣の手紙に自己の髪の毛を添へて封入し荻原の許に郵送したるに豫て思ひの外素氣なく刎ねつけられて件の髪の毛迄返送されたるより失戀の上に自暴になり此の始末に及びたるものならんと

丑の日に忙しいのは鰻屋許りで無い

◇◇焼爐に懸けられた鰻のやうにヂリ〳〵と油汗を流して働く電話係五百番

土用の丑の日に目を廻はすのは鰻屋ばかりであらうと思ふとこれは意外にも電話係りの五百番が目を廻はす忙しさに焼爐に懸けられた鰻の如うな油汗をヂリ〳〵流して働き詰めであつたとは

▽一寸珍しい 現象ではあるまいか去日曜日は一體に電話交換は閑で、從て五〇〇番も多少閑散でなければならぬのに去る二十二日の日曜日は土用の丑の日であつた爲め此の日に限つて話中取調が三百九十二と云ふ「レコード」破を現はした何しろ、平常の最繁忙の日でも二百七十件より多く出た事がないのだから驚き入る次第である四月以來の一日平均が百九十七件で殊に日曜日のみの平均は百四十三件で最も繁多の日でも二百卅三件の日が一日あつた許りであるのに一軒の加入者に對して二百十五件と云ふ話中調があつてそれが

▽正午前後と 夕方の六七時頃にとつて掛けたのだから溜らない筈である當日の四回以上話中調を依頼された鰻屋は江戸川が二百十五回、某亭が十六回松金が四回であつた

一萬五千人の同盟罷業

墨西哥來電=タンピコ郵便電信局の使用人一萬五千人は同盟罷業を爲せりタマウリパ州知事は慰撫の爲め現場に向ひたり(紐育電報)

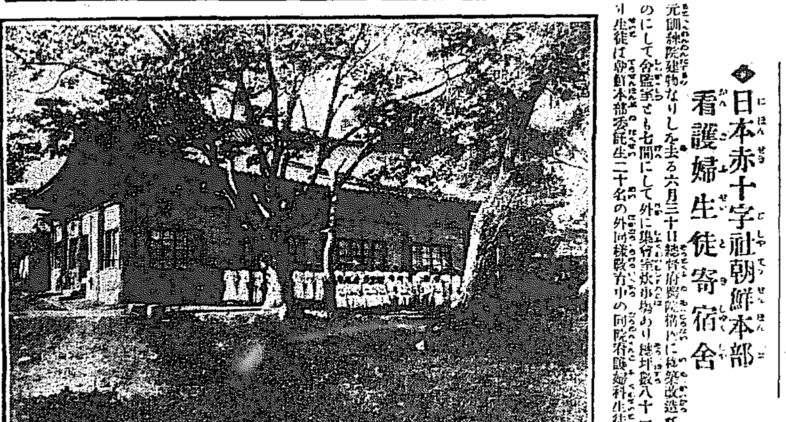
困つた驅落者

女を賣り飛ばさんとす

愛知縣西加茂郡藤岡村生れ加藤七五十(三六)は岡崎市にて川住屋と稱する旅館兼料理屋を營業中商用の爲め七月十五日同縣東加茂郡足助町に赴き料理屋富士一に登樓し抱藝妓太郎こと愛知郡愛知町生れの服部たま(二二)と馴染を重ね妻子を抛き去りにして相携へて家出し岡崎市にてスミス氏の飛行見物などして遊び廻り兩名相談の上

◇青島に赴き 料理屋を初めんと五七十は携へたる百七十圓を旅費として共に大阪に出で數日間滯在し旅裝を整へて七月二十三日連絡船にて釜山に上陸し翌二十四日京城に來り南大門通り尾張屋旅館に名古屋市東區飯田町二丁目金物商松井和夫(三六)妻たま(二三)と氏名を詐稱して投宿滯在中所持金を費ひ果し進退谷まりたる末女を滿洲本溪湖料理屋に賣り飛ばさんと相談を持ち掛けたるも女が

◇絶對に拒絶 して其の儘歸國せんと郷里に旅費の送金方を打電したる結果四十圓の送金あり然るに五七十は其の金の内三十六圓を賭博に打負け更に身動きならぬ破目に陷り女は旅費迄受取りながら更に歸國せざるより實父は本町署に宛て保護願ひを提出するに至り兩名を本町警察署に召喚取調べしに全く前記の次第と判明し女は再度旅費金の送付を受けて二十六日郷里に向け出發し男は氏名詐稱及び賭博罪に依り拘留二十日及び科料十圓に處されたり



日本赤十字社朝鮮本部 看護婦生徒寄宿舍

元醫院建物なりしを去る六月三十日總督府醫院構內に移築改造せしものにして舍監室も七間にして外に集會室炊事場あり總坪數八十一坪なり生徒は朝鮮本部委託生二十名の外同院看護婦生徒なり

二十九日釜山は快晴

盛んなる歡迎

二十八日の釜山の天候は南微風晴れにて氣溫八十八度を示し二十九日の天氣は變化なき模樣にて海上波靜かなる可し尙府雲臺東萊の本社主催探涼園歡迎●準備整ひ一行の來著を待てり景氣頗る盛なり(釜山特電)

十年囚破獄

大阪控訴院裏手未決監の工事に使役中なりし懲役十年の囚徒岡本春吉は廿七日午後一時破獄逃走せり(大阪特電)

大阪は百二度

二十七日大阪市の最高氣溫は百二度にして測候所創設以來の高溫度なり(大阪特電)

□廿八日溫度(午後三時京城測候所) 華氏九十三度六分 (昨日最高溫度九十五度一分)

赤痢とチブス

京城竹添町三丁目百九十番地荒木謙吉(一〇)、觀水洞二十一番地如昌稙全(二)、不定李春植(三四)、竹添町一丁目一番地尾形亮治(三)は何れも二十五日以降二十八日迄に赤痢病として診斷され入院加療中、櫻井町二丁目小岩勇(三〇)、花洞鄭滋和(二八)は何れも腸窒扶斯と診斷さる

讀者文藝 (一等に五十錢 四等以外賞品を呈す)

▲下句付「まつすぐに」

○まつすぐに理屈をつけて緞子泣き(一等) 元山鶴城洞六 內山溪思

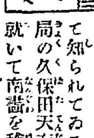
▲まつすぐに言はれぬ義理の板挾み 京城 蝸牛、瑶

▲……諫めて左遷せられけり 京城 兎角

▲……行かねで手先廻りだし 京城 曉翠亭

人蔘營業停止

京城長谷川町朝鮮製藥合資會社須藤久左衞門の發賣に係る人蔘エキスは誇大なる廣告をなして同業者よりも指彈されたることありしが此の程本町警察署より向二箇月間營業を停止されたり



灯ともし頃

京城の素人畫家として知られてゐる土木局の久保田天南氏に就いて南畫を稽古しつゝある連中によつて作られた木石畫會といふのがある▲此の人達の習作二百餘點を集めて二十九日の午前九時から白水の廣間に展覽會を開き當日特に案內狀を出した中で觀に來た人には抽籤で一枚宛持ち歸つて貰ふのださうである▲勿論何人に限らず縱覽は隨意との事近頃鳥渡毛色の變つた會である▲鎭南浦に行つてるお加代、その、稻助その他の馬賊連中から「一行の歡迎盛ん、元氣旺盛」などといふ電報が來た▲大分鼻息の荒い事と思はれる▲二十七日の朝、朝鮮ホテルの脇で何千とも知れぬ密蜂が群りて入亂れ蜂合戰を始めてゐた▲之れがために体に乘つて威張つて來た者などは何れも危險なので降りてゐた

龍山の防疫講話 龍山憲兵分隊

龍山憲兵分隊にては二十六日管内各町總代を分隊に召集し[illegible]

二、下水溝の浚渫及び修繕を行ひ以て汚物の停滯を防ぐ[illegible]

五、牛馬豚小屋等には著しく蠅の發生すべきに付此等飼養者は常に[illegible]

八、疑はしき患者は直に警察分隊に届出[illegible]

連絡船延着

二十七日午[illegible]二十七日午後九時釜山入港さくら丸

(文藝)課題及募集規定

[illegible]

募集規程

[illegible]

天氣 は 晴れ時々曇り

商・況

京城公債直取引(東京特電 二十六日出來値)

種類	値
五分利特別	九六、一〇
五分利甲號	—
一回四分	八一、〇〇
二回四分	八一、六〇
甲五分	九五、九〇

深川正米特電(二十六日現在高)

種類	高
朝鮮米	三四、七二二
內地米	三六、二一〇
外國米	一、六六一、三三九

大阪株式

種類	拂込額	二十七日前場	後場
東京株新	八圓	日本郵船 九圓	大阪株 九圓安
宇治川水	五〇、〇〇	—	
京阪電鐵	五〇、〇〇	—	
東洋紡績	五〇、〇〇	一〇四、一〇	
合同紡績	五〇、〇〇	一一〇、五〇	
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二五、〇〇	
同上新株	三五、〇〇	一二九、九〇	
東洋製糖	五〇、〇〇	—	
大阪商船	五〇、〇〇	一二〇、二〇	
日本郵船	五〇、〇〇	一五六、四〇	
同上新株	二〇、〇〇	—	
堂島米穀	五〇、〇〇	二〇一、五〇	
東京新株	三五、〇〇	一六三、四〇	
大阪株式	五〇、〇〇	四二一、〇〇	

大阪三品特電(二十七日前場)

限月	値
七月限	四一四、九五
八月限	四一九、九〇
九月限	四二五、〇〇
十月限	四二五、九〇
十一月限	四二五、〇〇
十二月限	四二六、八〇

大阪期米特電(二十八日前場)

限月	寄付	止メ
當限	二二、五一	(三節)二二、八九
中限	二二、七一	(八節)二三、一九
先限	二三、二〇	—

雜報

綿糸再轉反撥す

立會中止を動機に人氣一轉急落を告げたる大阪綿糸相場は二十七日前場遂に共四圓四百圓割れを現し中止當日の亂手の五百圓臺は別として附值よりするも四百七十圓臺に

切れ慘憺たる崩落を演じ

[illegible]

俄然再轉大反撥

となり十限の四百二十圓八十五錢を最低に至りたるが後反し硬派の旗色再び振ひ初めしが尙ほ其他何れも四百十圓臺に盛返せり

今前場は米棉一圓高

綿糸當限四百十五錢先限四圓九十五錢四百二十六圓八十錢と前來より五圓乃至十圓內外の高値に擡ぎたり尙相場は更に一段强ふろいへ週り離き前日の如き底抜けを許さざる所なれば硬派の勢力も或は自然的に制限を加へらるべし左ればとて又賣勢に伴はざる大暴落も望み難く結局當分は

四百圓を中心に高下

して新材料を待つ事となるべし南綿糸現物は平價十六手三百八十四圓十手三百五十五圓三十錢三結尾物十三圓の入電あり

綿布龍レー現物十二

生糸相場反落

[illegible]

人氣一段崩れ立つ

[illegible]

五十九圓を報ず 十五圓以上

[illegible]

急落を告げし事は確はなりし一方は現物は單に二十圓安との入電

なりしが之を二十六日の相場と比較すれば僅に千六百五十圓に當る譯にて定期に比し暴落の度少く[illegible]斯の如き逆行的成行きは元より

一時的人氣の作用

に過ぎざるべく然かも歐洲の生絲需要[illegible]

割方減收にて支那

[illegible]

困難の狀態

[illegible]

春蠶は不幸減收

[illegible]

過當に非ず

[illegible]

牛皮と製靴

[illegible]牛皮は相場の皮材料に大阪筋よりの買注文入込み來りつゝあり目下五十八圓位の買入れなれば引合ふも出廻り少なき爲め目立ちたる取引行はれず[illegible]云々の說傳はりつゝあるも度々此手にて失敗を繰返せる當業者は既往の苦き經驗に省み最早斯かる浮說には耳を傾けざるより[illegible]何等の反響なく依然沈靜の狀態を持續せり今回の[illegible]相場更に下落し[illegible]本國の事情は何時之等の輸入を禁止するやも測り難き[illegible]出の永續せざる懸念さるゝに至りしが如く關係當業者は當初の意氣込みに反し昨今稍々警戒を加へたり

磨粉の新注文

[illegible]

鷄卵品間へ

鷄卵は毎年此頃需給の關係と產卵減少とで相場の漸騰を促す時期なるも近年養鷄業の發展に連れ產額增加せる一面には米價諸物價の高値により[illegible]市場は却つて品間へとなり相場も同樣[illegible]

下關相場

卸相場は百個一圓十五錢(小賣十個十三四錢の上)

[illegible]

京城正米

種類	值
△朝鮮一等白米	二十三圓八十錢
(當用)	二十三圓九十錢
△同	二十四圓
△同	二十四圓
△滿川陳布大豆	十二圓五十錢
△新義大豆	十三圓九十錢
△同	十四圓
△義州交り大豆	十三圓五十錢
△元山大豆正上	十四圓五十錢

大阪期米は前日の五落に次で今朝一[illegible]

釜山穀物 (廿七日)

幾分相場の下押しは免かれざるべし

▲正米 氣配二十錢安 本邦大阪定期米は打續く[illegible]

仁川期米

二十八日前場 (大暴落)

[illegible]

俄然大暴落

[illegible]

市場零聞

[illegible]

大混戰裡に二十七錢と不勢の成行

[illegible]

二十八日の九月限 仁川米豆取引所

	前場	
寄付	十九圓三十七錢	
止め	十九圓二十七錢	
高值	十九圓三十八錢	
安值	十九圓二十五錢	
出來高	九萬五千石	

半均值段	
一節	十九圓十九錢
二節	十九圓十五錢
三節	十九圓二十一錢
四節	十九圓二十五錢
五節	十九圓二十六錢

賣買取組高

限月	高
七月限	一萬五千八百石
八月限	一萬七千六百九十石
九月限	三萬千五十石

青物だより

[illegible]

白米標準值

二十三圓七十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 二十四錢 次 白 二十三錢五厘

當限納會す

[illegible]

當限受渡高

[illegible]受渡高は一萬六千三百石にて受渡值段十九圓丁度

中先逆鞘

[illegible]五錢の逆鞘を附するに至つた[illegible]

大激戰大商盛

[illegible]

仲買店 仁川 ...

…衛生[illegible]防に關する[illegible]あり同時に左の諸事項を提示して各町居住者に[illegible]行方を總代より通達せしめたり
一、[illegible]は各要[illegible]の[illegible]なるを以て發生の防
三、未だ便所の設備充分ならざるものあり此[illegible]完備すること(例へば糞液の流出するもの及び尿蟲の出入容易なるもの等あり)
四、開井和の蓋付なきもの及び破損せるもの等ありて衛生上不良なる而みならず延ひて
では消毒[illegible]な[illegible]し且蟲の發生なからしむること
六、過食及び間食は胃腸を害し病源となるものなれば攝生すること
七、生水、生魚、鯛、鹽、草魚、生野菜等は可成食せざること

前八時釜山入港高麗丸一二等客
一等(一名)伊藤三郎
二等(三十三名)近藤義美、竹島義家、河野義治、小西豐三、同いつ、末家元悅、岩熊萬藏、佐渡謹子、外人七名、橋本助作、同捷四郎、中村正治、今井英夫、山本嘉次太、田中丸善太郎、同長次

一等(四名)[illegible]、大保治平、倉田昌吉、德永重根
二等(十四名)永野都四郎、安村常吉、長谷作助、宇七武彥、野津文平、赤萩與三郎、西村勝三、小畑豐七、中江與造、角田武郎、倉澤末彥、伊吹勘二郎、大月勝太郎、藤島鹿次郎
三等、九十八名

◉釜山より海雲臺へ

釜山の大設備と避暑
避寒地としての海雲臺

朝鮮に於て春夏秋冬四季を通じて常に氣溫の調和を得寒暖節に叶ひたる地を求むれば先づ南鮮一帶を指さすべし殊に釜山附近は氣候風土最も健康に適せりと稱せらる取分け釜山港は天然の地形良港灣を成し出入船舶の頻繁は內地より將た歐洲よりの交通の旅客日に千を以て算せらる近時歐洲戰亂以來は海上の危險を避くるの而已ならず迂遠なる旅程に據らんとする

▲歐米各種階級の 旅客著しく去來の數を增加し所謂歐亞連絡幹線路の實現を呈せり斯くの如くなるを以て釜山港に於ける設備は豫期以上の擴張を促がし從來の第一棧橋は唯だ旅客の昇降に充つるに過ぎず既に第二大棧橋の建造を要求し今や大半工を竣へ一部使用に便せしめあり同棧橋に對する陸上の設備たる通路は既に竣工を告げ上屋建築も近く落成を見んとし其他の施設は從來に比して數等宏大なる計畫の下に進步を急ぎつゝある而已ならず釜山鎭埋立

▲地域八萬餘坪は 既に鐵道局敷地として組入られ大釜山港としての理想的港灣及交通機關の計畫を實現せしめんとするの準備全く調達せりと傳へらる茲に釜山港灣の設備完成に伴ふて釜山に於ける陸上の設計は釜山港民の理想として大なる希望を有せることに在り先づ第一步として

▲東萊及び海雲臺 の勝地を包含して一大遊園地と爲さんと欲するにあり且つ去來旅客の行遊に倦ましめざる爲めに天惠の溫泉を利して大浴場たらしめんと企圖せるにあり、猶ほ海雲臺は海邊水淨く海底淺く之れ又た夏季銷夏の大海水浴場としての好適場所たるを旅客に勸めんとすること等にあり前者は電車相通じ頻繁に交通して約四十分を以て達するを得べし、後者は東萊を經て自動車を通じ現に營業を開始し居り

▲東萊より二十分 を要するに過ぎず天候快晴の日を選び朝鮮郵船の定期便に據れば釜山港內の風光を賞し赤崎半島、吳陸島の奇勝を眺望しつゝ潮音靜かに舷側を打つの快を叫びつゝ一時間にして海雲臺の巖下に著するを得べし、同地を探賞した旅客は日々函根を由井ケ濱に結びたる如くなりしと異に盡し得たるの言なりと

▲海雲臺に關する 歷史上の事蹟は昔く世人の知悉せる所今後同地に於ける溫泉場及び海水浴場の設備漸次整頓するに從び同地の發展は豫想の外に達すべし既に李王家は別邸を同地に設くべく豫定地を選定し鐵道局は歐米旅客の避暑、避寒地としての適當なるを以て一大ホテルを建築すべく之れ又た豫定の地域を買收し、其他侯爵朴泳孝、子爵宋秉畯等貴族の別莊を始め

▲日鮮紳士の別墅 控邸近來頻りに計營せられつゝあり猶ほ背面を回らせる蔭山、天子峙、帝釋山如佛山、烽山等の連峰に十萬餘坪の殖林を爲し同地の風致を添ふべく朝鮮貴族は組合を以て醵金し之れが計畫を企てつゝあり數年前に於て同地の將來を達觀し種々經營に盡力せし岩永米吉氏は愈よ從來經營を擴張するの時機到來せるより伊豆の素封家依田善六氏に說きて同地經營を舉げて共同事業となし

▲先づ溫泉掘鑿の 業に著手したりしに幸に泉源に到著し其湧出量は豫想以上なるも湧上の力稍や薄弱なるを以て電氣動力を以て之れを補足して高處に導き湯の瀧、淡水の瀧等の新設備を施し僞砂湯等の一般

▲溫泉場式の設備 を完成し之れが浴場の建築は既に竣工したるが其宏壯清洒たる建築物の總坪數は百四十三坪餘にして普通浴場、特別、貸切等の浴室は努めて浴客に快感を與ふ可く趣向を凝らし脫衣場、休憩室何れも完備し居れり殊に浴槽は常に三尺二寸の溫泉をたゝへ猶ほ兒童の浴場として一尺の水量に滿たざる浴槽を加へたる等家族的入浴に意を用ひたる等は用意の到れり盡せるのみならず浴槽の構造の大理石又は人造石等用ひて見るからに心地よげなるに一浴汗を洗ひ欄干に凭りて日本海を展望して涼を恣まゝにするを得るの快感は都人士の夢想だに需むる能はざるべし尙同地經營者は以上の計畫に滿足する能はずとし更に田村林學士の指導に基き前面一體六千餘坪の地を相して大庭園の築造に著手せんと設計し居れりと聞けり此れが設備の完成を告ぐの曉に至らば箱根に添ゆるに由井ケ濱なりとの評語に今また奈良の景趣を加ふるものと謂ふべし

◉最近の哈爾賓

—兵士と勞働者の衝突の絶ね間が無い—
亥角警務官談

目下の哈爾賓の狀勢を見るに革命後は殆ど兵士と勞働者の天下となり極端な自由思想といふ潮流に捕はれ兵士の如きは氣儘に外出するを常とし一般社會の

▲秩序全く紊亂 してゐるから兵士と將校、勞働者と軍隊及び是等の露國人と支那人乃至は邦人等とも衝突を來し殺傷事件のやうなことは每日演出され朝鮮などに比較して殆ど無警察の狀態であるとも觀られる、一般行政權を握つてゐるホルワット將軍も革命以後は執行委員會といふ一種の機關が新設されて盛んに容喙し注文がましい行動に出づるので將軍の

▲政治的權威も 革命前の如く徹底されぬのは遺憾であると思ふ夫れに一時禁酒令が撤廢されてゐたので兵士や勞働者が醉狂から起す弊が甚しかつたので最近又も禁酒令が施行された、斯うした多數の低級社會の者には思慮の淺薄な者も多い爲め勢ひ社會を攪亂する傾向が現はれる次第で是れを社會の公安、秩序の維持の上から觀て玆に自由思想を制肘し之れを統率することは住民の幸福であらうと思ふ

◉東萊溫泉

其の發展の模樣 (三)

◆東萊溫泉の發見されたる事は餘程古昔にて既に百餘年前に浴場を建設し一般の入浴に便し來りしを明治二十年頃時の釜山領事は韓國政府に交涉の結果其一部を借受け邦人の浴場に充てたりしに後八頭直吉氏をして之が經營を爲さしめ大正五年一月に至り目下京阪亭の女將たる村山まさ引受け料理店兼旅館を營業せり

◆更に明治四十年八月釜山の豪商豐田福太郎氏は前記浴場に隣接せる地に新たに浴場を設け蓬萊館を設立し浴客の利便を計るに努めたるより稍や同地の面目を新ため漸次浴客の來集するもの多く其當時に於ける內地人の居住者は只僅かに六戶に過ぎず

◆明治四十二年十二月始めて釜山鎭より輕便鐵道の開通を見るに及び遽かに來往の便を得て活氣を呈し別莊の建築、商品の開始せるもの等一躍して居住內地人二十戶に及べり

◆同四十五年七月大池旅館の新築落成し新たに浴場を設けたるより從來の鮮人浴場を合して六個所となり戶數亦た增加して三十戶に達せり

◆爾來漸次發展し來り大正四年十月釜山より電車の開通せるに因りて一層居住者を增加し既に四十戶を超過し翌五年九月朝鮮瓦斯電氣株式會社が新たに大浴場を設立するに及びて附近に旅館商店等續々新築せられ忽ち五十戶を超へ同年十二月に旅館鳴戶支店の新築落成を告げ浴場八個所二十二室を見るに至れり以來居住者益々增加し目下六十戶二百五十名を算するに至れり

◉夏の食物は何にが宜いか

氷水は惡るい

一體日本では食物營養問題が殆ど研究されて居らないから嚴格に言へば夏の食物はどんなものが可いか精しくは話し得ない譯で、

◇食物の分析 營養價値の研究から根本的にやらにやならぬ程日本人の食物は閑却されたまゝである之れは將來研究すべき大きな問題として、夏の食物に就き營養學上の常識からお話しやう夏の食物はアツサリしたものが可いと云ふのは次の樣な理由から眞理である人間は夏であらうが冬であらうが先づ

◇二十六度半 と云ふ體溫を常に保つて居なければならぬ、然るに夏は、溫が高いから體溫を發散することが冬よりも少い夫れに冬と同じ樣に熱を製造する食物卽ち脂肪澱粉類を同樣に攝取して居つては熱の出かたが多過ぎることになる

◇それで夏は 熱源食物が少くしてアツサリした食物が可いと云ふことになる、而も夏は氣溫が高い爲めに怠惰になり唯ゴロゴロして居るから熱量を失ふことも少いから尙更熱源食物が少くて可い譯だ脂肪澱粉は少くする必要があるが其代り蛋白を多く取るかと云ふに

◇夫れは全然 誤つてゐる其必要がないばかりでなく蛋白質を多くとると却て害がある、脂肪澱粉類の食物なら血管內に吸收されて燃燒すると其の結果出て來る物質は呼氣中に吐き出さるゝ物質になるが蛋白質のは腎臟に集り尿中に出る、然るに夏は

◇尿の出かた の少い時であるから其處へ腎臟から出る成分が多くなつては害がある夏は脂肪澱粉を少くする代り蛋白を多く喰ると云ふは俗說である、營養が多過ぎては大變害のあるものである夏は又消化器傳染病原の

◇發育の旺な 時であるから僅の消化器機能の障碍でもあればやられる、から胃腸を害する樣なものをやらぬことにする、けれども其時候時候の果物などは新鮮なものであればい〻、煮て喰べず生食が可い煮ると物によつては消化をよくするが

◇或る成分は 煮た爲めに破壞さるゝものがある果物を煮て喰るなどは惡いことだ、氷の樣な極端に胃を冷たくするもの〻惡いことは言ふまでもない菓子の腐敗したのはすぐ判るが果物の腐敗したのや不熟なのは一寸判らないから

◇最も危險で 腸胃を害するばかりか赤痢だとか腸窒扶斯とか云ふ傳染病に罹かる、果物に注意して新鮮なるものを與へるやうにしなければならない、其れから子供は暑さにも滅けず外に出て遊ぶものであるから汗が盛んに出る隨て非常に咽喉を渴かして

◇氷水や冷水 を飮みたがるが之は湯なり茶なり一旦沸かしたものを與へるやうにするがよい、又夜分寢た後著物を脫いで寢冷するから腹卷をきせることを忘れてはならない、若し子供が下痢した場合にはよく下痢止めの賣藥を買つて飮ませるがあれは甚だよくない、相當の醫者にかけてスツかり下して仕舞はねばならぬ

◉講道館支部創設 東京なる講道館支部を京城に創設せんと豫て計畫中なるが是につき協議の爲め京城居住講道館有段者諸氏は二十九日午前九時より警務總監部に參集して打合はせを爲すべしと尙京城にては初め有段者約二十名あり全鮮にては三十七名許りありと

◉女醫戶川錦子女史開業 戶川女史は明治四十四年東京女子醫學專門學校を卒業直ちに文部省醫術開業試驗に合格し同年秋渡鮮し總督府醫院に於て專ら婦人科小兒科內科を研究し數年前より李王職囑託醫を拜命し今日に至れるが今回京城光化門通美術品製作工場北側に獨立開業し一般患者を親切丁寧に診療すべしと

—神社とお寺と敎會—

○京城日本基督敎會(長谷川町) 七月二十九日午前十時禮拜說敎『靈魂の故鄕』金子牧師 同午後八時半傳道說敎『救はれたる者』金子牧師 同午前九時日曜學校

○メソヂスト敎會日曜集會(旭町二丁目) 二十九日午前十時半日曜學校同十時禮拜說敎『扁豆の羹』大島正健君 午後八時半『エスの使命』會田傳導師

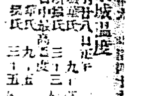
○救世軍の集會 七月二十八日(土曜)午後八時半直三十銀行支店前にて『商人根性』一柳效補生 二十九日(日曜)午後九時永樂町二丁目屋內『國勢法』石島大尉

○聖公會(南米倉町) 午前八時三十分日曜學校午前九時三十分聖餐式說敎『放蕩兒の話』一色司祭午後八時晚禱及び幻燈キリスト傳 一色司祭

○曹洞宗別院(若草町) 二十八日午後八時半より開山忌法要執行二十九日午前九時より盂蘭盆會例會

△物は似て[illegible]似るものに
△謎『扇風機と掛けて』
△一口噺『其時々の事』
△下拵へ『勝手さへ』
同一日 同二日
同二日 同三日 同四日
同四日 同五日

[illegible]表後一週間以內に發表又は同案發見[illegible]告者には五十錢當籤券を呈す(但[illegible]何告何號と明記に限る △宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

豫報

△京城溫度 [illegible]

內科小兒科 入院隨意(普通病室並隔離病室) 京城旭町一丁目 小林醫院 醫學士 小林千詩 電話六九二番

東京帝劇出演 女優劇 (納涼女優劇開演) △新らしい芝居▽ 今廿八日より三十日まで三日間 山村都紀子一行來る 於仁川歌舞伎座 電話一七六番 △美しい女優▽

眼科專門 入院隨意 京城明治町東拓橫(電話二〇四四番) 江頭眼科醫院 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

旅行用具一切 毛布新荷著(格安品) 二枚續き三圓五十錢四圓五十錢五圓五十錢以上 □鞄製造バスケツト □柳製專賣品トランク □雨合羽防水布引マント 雨合羽地もあり □魔法瓶及中瓶取替 □蛇ノ目雨傘番傘小供學校行傘 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

ミツワ家庭藥販賣 處方を公開し內容を明示せりミツワ家庭藥を御用意あれ! 朝鮮特約店 熊平支店 長電話六二四番 振替京城二二二番

謹告 暑中御見舞として平素の御厚志に報ひん爲め來る二十八日より五日間 洋食半額にて差上ます(御來店に限る) 精肉氷卸商 京城明治町二丁目 石田本店 電話千〇四十二番

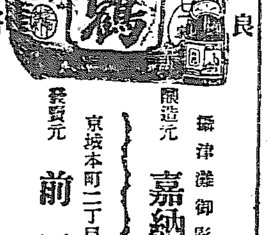
內外科 小兒科 花柳病 京城本町二丁目(壽館前) 電話二一六番 高井醫院 院長 正六位勳四等功五級 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彥 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話一四八・四五四・九四番 振替京城五七番

京城西小門町二一番地(舊醫院跡) 入院隨意 普通病室隔離病室の設備あり 田中丸病院 院長 醫學士 田中丸治平 副院長 醫師 上野和夫 電話八八五番

株式會社第一銀行京城支店 資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千〇五拾五萬圓 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番) 支配人 西村道彥 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候 明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

大日本優等清酒 ハクツル 品質純良 衞生無害

製造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

朝鮮語會話 朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著 第四版 定價金八拾錢 郵稅四錢 受驗者必携の資料 袖珍總クロース四百餘頁頗美本 本書は第二版に於て動詞、形容詞の大增補を行ひ嘖々たる好評を博し偉大なる賣行を示したり、爾來三版は瞬く裏に賣盡したるを以て、玆に更に大々的增補を斷行し、副詞の適譯百種及最近試驗問題解等を載せて、愈々第四版を發賣するに至れり是非速に一本を机上に備へて愛讀せられんことを希ふ 賣捌所 京城日報社代理部 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 取次所 大阪屋號、巖松堂、京日各支局

內科 小兒科 入院隨意 京城櫻井町(電一二七一番) 池上醫院

醫化學器械一式 藥種賣藥卸商 仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番 京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

中央婦人病院 京城明治町二丁目(元漢城病院下横通) 電話二三四〇番 院長 衣笠茂

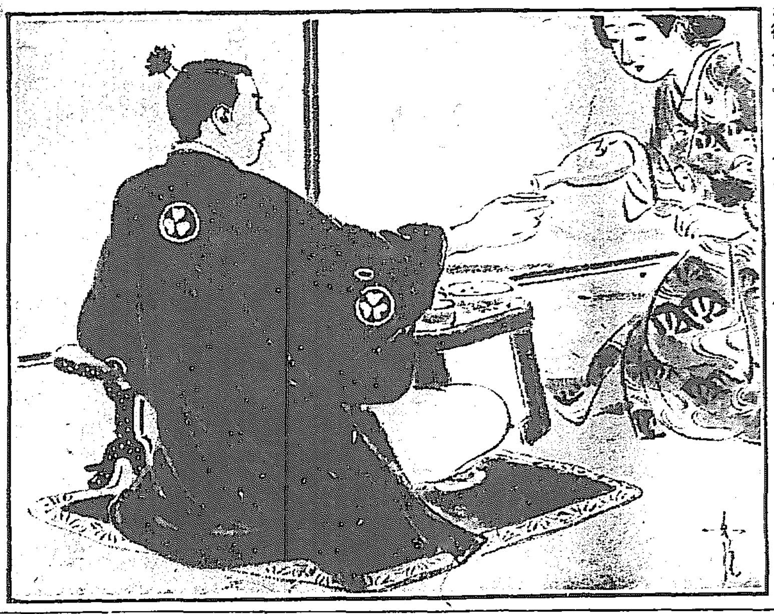
明君道中記

第二百二十席　田邊南龍口演

二代將軍秀忠公は是より大阪へ御出陣になりましたが、冬夏兩度の戰は是を略しまして次に元和元年五月七日大阪落城して秀忠公は關東へ凱陣になりましたが老中方へ御沙汰になつて唐崎村平六を江戸表へお喚出しになり吹上げ庭前へ召されて老中土井大炊頭が掛りでございます。大炊頭は 大『コリヤ平六面を上げい』平『へイ』大『其方事先頃淀川に於て將軍家の急危を助け參らせしは天晴れ賞め遣はす。依つて恩賞の沙汰を行ふであらう。何んなりと望みの品を申せ』平『私は別に望みはございません、倅と二人で船に乘つて餅菓子を商つて居りますが船が大分古いたんで參りました故私と倅の分に船を二艘造へて下さいますやう』と申上げたどんな事を願ふかと思ひました處至つて小さな事 大『ムヽヽモソツと他に何か望め』平『左樣なれば今一つお願ひ申ます何も私は言葉が惡いものですから時々失策ます、先達ても侍が大層怒つて刀を拔いて私を斬つてしまうと云つた事がございます。何うか此の後はどんなに惡口をしても關はないと云ふ御書物を頂きたうございます』左樣かとあつて大炊頭より將軍家に言上になり直樣御朱印を下されました、その文に

一、當所渡守船頭を猥に打擲致し候に於ては討捨べきもの也、土井大炊頭之を承はる

として平六へ下し置れる猶船二艘を新造して遣はしましたから、さア平六は威張のなんのと云つて、客人に對つて惡口をつきまする何んと云はれても此の船頭には手もつけられません、若し打擲でもすれば討捨になるのである故、皆我慢をしてしまひます。船頭はつけ上つて威張りますそれ故衆人の迷惑は一方ではございません是は少々晝過ぎました事でそれ故一名過書船と云つたくらゐでございますが、後に此の御朱印はお取上げになりました此事を板倉の家來より長七郎へ申し上げました故長七郎は勘愼をいたして 長『イヤ始めて承はつた過書船の由來客へ對つて餅喰はんか飯喰はんかと申すはその理由であつたか然らば船頭共は許し遣はすが客に對つて餘り惡口を遣はんやう其方共より疾くと申付けよ』○『委細畏り奉ります』とお受をして板倉の家來からその理由を云ひ聞せました故船頭共は大いに懼き皆恐れ入つて居りまする。其中に船は大阪に著きました、板倉家の役人はお別れを告げて京都へ引歸す長七郎主從は船よりお上りになつて大阪市中を見物いたす思召で大阪高麗橋筋大黒屋又兵衞方へ宿を泊りまして長七郎はお園宅兵衞三次等を連れまして毎日市中を見物に出る大阪は又格別繁華な處でございますが天王寺生玉或は住吉神社などへ參詣をして歸つて參ります大黒屋又兵衞もお名前は知れんが何んでも尊き御方に違ひないと云ふところで家中の者も心付けて叮嚀に扱つて居りまする。或夜長七郎相變らずお園に酌をさせ宅兵衞三次なぞを話し相手として御酒を上つて被居ると下座敷へ大勢集りまして酒盛をして居りました樣子。其の後何をし出したか大勢車座になつて居りまする○長『コレ女中』女『ハイ』長『一寸主を呼んでくれ』女『畏りました』下へ行つて主に告げたか暫く過つと又兵衞がそれへ參りまして 又『ヘエお客樣何か御用でございますか』長『オー亭主か少し聞きたい事がある此方へ入れ』又『ヘエー何んでございます』長『彼の下座敷に大層集つて居るが彼れは何をして居るのか』訊ねられた時又兵衞が少しく答へに困りました



京城府明治町二ノ三二（元宮案件社跡）
花柳病　皮膚病　須古醫院　電話二一〇二番

八月一日 日曜
舊六月十四日 乙亥　本命一白　北定　先勝

▲一白● 瞬を生じ安き日注意 新事見合西方は吉暗劍北▲二黑● 不自然の事有日新事見合致事は吉病生に注意せらるべし▲三碧● 高倒なる日轉居入學金件求職出漁家作婚衍物の指南な婚る事萬吉▲四綠● 結婚なる日轉居開業入學金件婚談露升等皆吉▲五黃● 爲にならぬ噂し多き日新事手控衆事は吉又散財な防がるべし▲六白● 欣快の日轉居入學等皆吉女子の悲はぬ良緣を得る頗る有望の日也▲七赤● ふと善な施て大いに德を得ること有日萬事進て吉待人遠方より來る▲八白● 一寸錢にかゝる事有日新事手控舊事は吉新取引は用心の事▲九紫● 氷炭相容れざるが如き事有日新事手控舊事は吉一切のかけ事を禁ず

夏の胃

夏は誰も胃が弱り、水アタリ、暑氣アタリ、食傷等の吐瀉病に罹り、其他の餘病を引起す恐あり胃弱者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて、日々の持藥とし玉ふ事肝要なり

胃病良藥　胃活

定價（胃活錠）二圓、壹圓、五十錢、廿錢（胃活）一圓、六十五錢、四十五錢、廿五錢、十錢
請賣全國海外要所の各藥店にあり
本舖　東京・大阪　山田安民藥房

◎◎◎◎夜具地綿

…○各品全揃○…
ますます高値に向ひつゝありますから御早い程格安に願はれます　ベーヱ
龍山元町（電話四二八番）
こまや　植西呉服店

演藝案内

東京小林商會活動寫眞一手代理店　米國ユニヴァーサル會社特約
直營　早川演藝部　有樂館
電話（局上）四九七番（階下）二〇五番
廿八日より公開午後七時より日曜祭日正午より二回
●實寫ユニヴァーサル週報　吉本征壽説明
▽滑稽『惡い風』同十七分　ユニヴァーサル會社エルコー社製　都築搖説明
○活劇『快男子』同十七分　社の一バイソン會社　久世春遊説明
●活劇『戰線』全五卷　同社ブリューバード社『戰線』は米國南部及墨國の動亂より活劇に入り小頃の人情劇はニナ！カミナの二線か大活躍今や世界の大戰たる歐洲戰亂を思ふに係あり本卷中の見物に一見の價あり
●舊劇『伽羅先代萩』東京小林商會が苦心の撮映なる　竹本糸好出語り　仁木彈正（[illegible]郎）乳母政岡（海老十郎）
▼新派『二人妻』（連鎖劇）小林商會の進物　老紳士と若き妻 [illegible]

京城壽町　壽座　電話七五八番
キネオラマ應用悲喜劇鬼笑會一行
去る七月廿九日より（初日）
▲望み通り（笑劇）二場 ▲故郷（悲劇）一場 ▲短氣者（喜劇）三場 ▲闇の光（喜劇）一場
◆重なる登場俳優　長谷川澤右、春木一樂、山本美峰、小泉冬峰、山口雲峰、梅谷鑒兵衛、一谷一笑
本日六時開演
▲入場料　特等七十錢、二等五十錢、三等三十錢

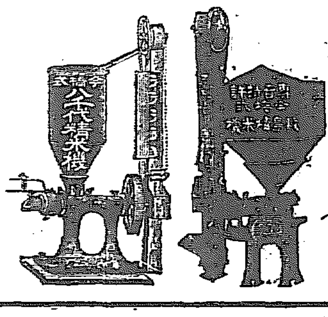
！納涼興行！
東京落語　雷門助六一行
◎今廿八日より開演
浪花館

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
電話二三六三七　二三六六　黄金館
○七月廿七日より納涼特別大興行
京城日報掲載 各地新聞六月廿六日掲載 目下大阪に上場中人氣を集中しつゝある
○新聞連續劇『大阪城お濠の悲劇』（全五場）兒島旭洲筑前琵琶彈奏
○米は高くなつた物價は騰貴する世間は暖かくなる成金が生ずれば生存競爭の揭句敗殘者を出する噫生活難に迫ばれて可憐なる愛兒三名を抱へたる千日前ト本町通左右うめが此世のお名殘と四名か投身せし千日前に遊び途に大阪城外にお濠に [illegible] と云ふ最新らしき最近の大悲劇
△米國パテー會社大傑作連續大寫眞
○『謎？人？』『謎る影』（全三十卷の内第一第二卷上場）○内地各地に於て好評嘖々たる大寫眞にして『名金』『ボーリン』等の比に非ず
○シェリー・ガーソンと呼ぶ著名な探偵小說家其戀人たるレオンテインと稱する美少女是に撲悪せる寶石家セバスティン等が主となり奇々怪々の活劇を演ずると云ふ瞞面進抄と共に趣味々湧き出づる大寫眞の稱に溺れす
△史劇『妙國寺の血潮』（全三卷）堺に於ける浪士壯烈なる當時の有樣は五十年前堺事件流石我大和魂は外國人をして膽を拔かしめた
△毎日正六時三十分開館日曜日祭日晝夜開館
△入場料一等三十五錢二等二十五錢三等十錢
△本興行中に限り△從來發行の招待券は御斷

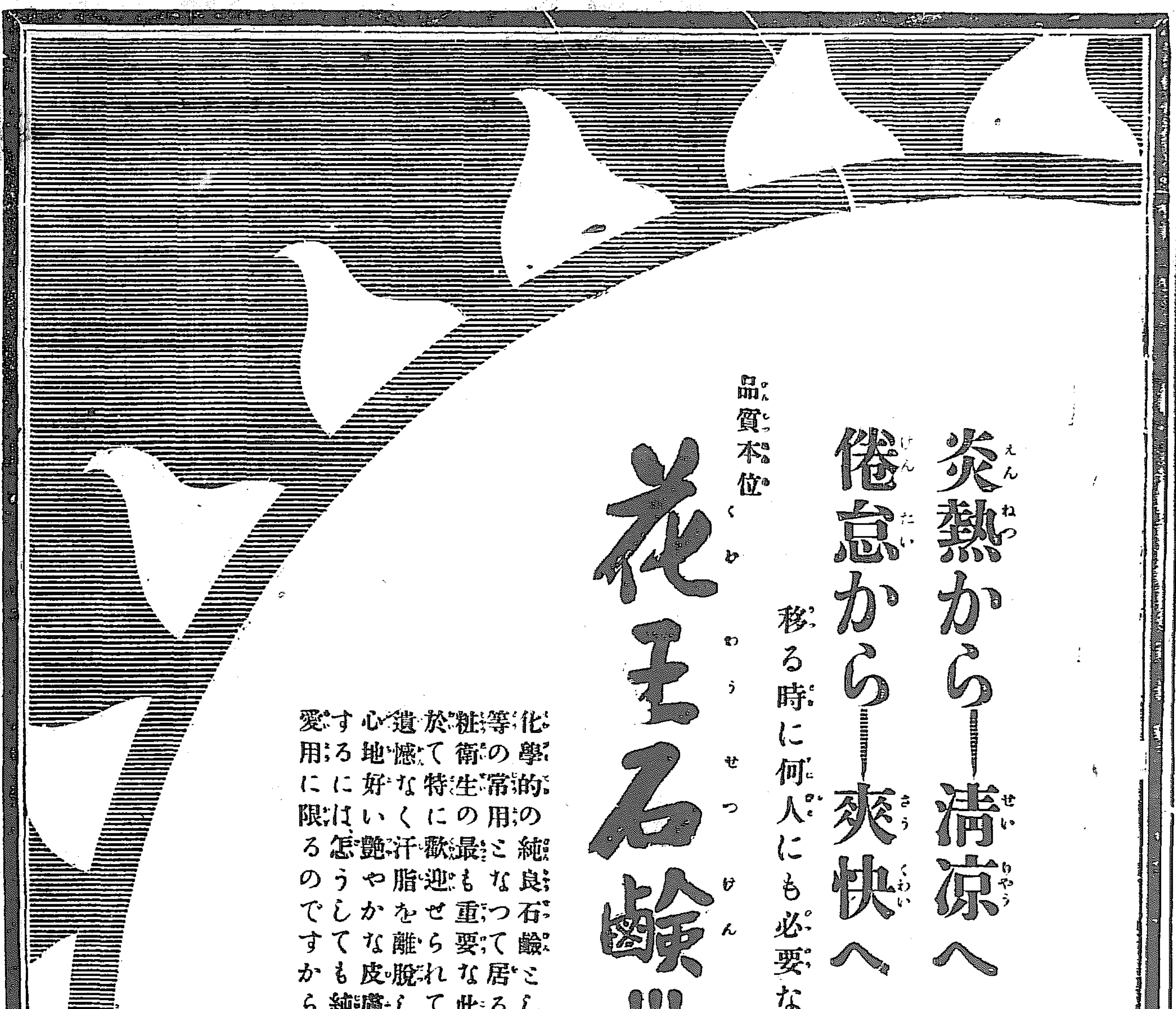
明治町　電話二六〇
東京落語雷門助六一行　浪花館
七月二十八日より開演
▲落語（ぼたん）▲落語（助丸）▲落語（雷洲）▲音曲手踊（助六）◆落語（若樂）▲落語大角力社中力士登場 ▲飛行の皿（助三郎）▲名物踊（社中）▲常盤津（和佐八）▲落語振事（助六）▲落語劇（社中）
▲入場料　一等金三十五錢 ▲二等金廿五錢 ▲三等金十五錢

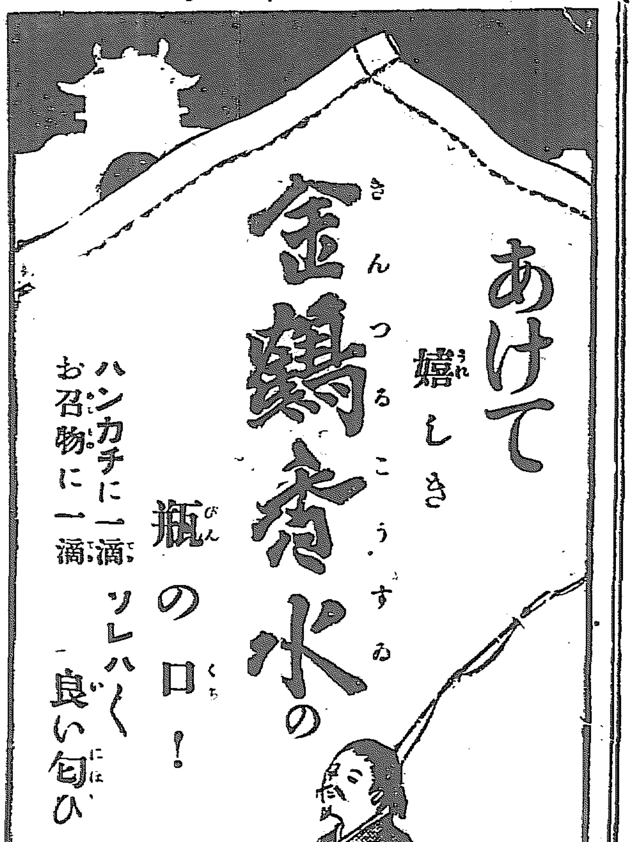
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
櫻井町　大正館　電話八七三
○當廿七日より特別提供の大寫眞　入場料特に普通
○實寫ゲレトン海岸の風景
△米國カレム會社傑作
○活劇『ヘレンの冒險汽車の卷』全二千呎
△斯界の名優尾上松之助一派出演
○舊劇『高塚營の仇討』全四卷　勝間の郡司佐々木源太左衛門の義弟源吾家老石川大膳を謀り兄を殺し妻及一子を追放して家督を奪はんと [illegible] 源之丞父母の仇を報ぜんと非人となり [illegible] 仙術の援助を受け積年の怨みを晴すと云ふ有名なる仇討
△キーストン會社傑作
○滑稽活劇『逃げ出し金庫』全二卷
△日活東京派立花貞二郎一派　新聞連載小說　△柳川春葉氏作
○新派悲劇『二人靜』全五卷 [illegible]

今橋式　八千代島　自働精米機
名譽大賞受領



●詳細説明書進呈ス
大阪市西區江戸堀北通三丁目
株式會社　今橋商會
電話長土佐堀二一八二番
振替口座大阪一四四〇九番





汽車

[illegible]

第三版

京城日報

七月廿九日
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵税一ヶ月金拾五錢
廣告料 ……
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 ……

京城日報

歐洲戰爭と交戰諸國の陸軍(八)
國民給養問題

今次の戰爭が世界的に擴大せられたる場合に於て食糧問題が單に軍隊の給養問題に止らず、實に國民給養の大問題たる可きことは平時列國の貿易統計が明示しつゝある所也。即ち現下交戰諸國に於て該問題が戰爭續行上重大なる關係を有するに至れるは當然の結果と謂はざる可らず。而して歐洲交戰諸國中平時に於いて國内食料品の全部を自國生産品を以て辨じ得るは僅に露西亞一國に過ぎず、其他の諸國は總て其一部を他國生産品の輸入に仰げり。英國の如きは總量の六割を、獨逸猶ほ穀類の約一割を輸入品に待つ。故に開戰後に於ては食糧品輸入税の制ある國々は獨墺を始めとして皆關税の減額若くは免除を斷行して外國品の輸入を獎勵せしも、海上封鎖の結果は交戰國双方共に輸入困難となり、加ふるに國内に在りては壯丁出征し勞力不足を生じ、遂に國民一般に給養品の缺乏を來し、之が需給調節は最も複雜にして而かも最も重要なる政務の一たるに至れり。於是英國は食糧省、獨逸は食糧院の如き特設機關を設置し、其他各國皆極力國内の生産增加を企圖せり。就中最も早く且其必要を切實に感じたるは獨墺同盟國なりしも其後獨逸潜航艇が海上に跳梁し航海が大危險を伴ふに至りて英國に於ても同樣なる重大問題の一に加へらる。

國内生産增加の方法として各國の採れる所は主として耕作の獎勵、耕地の擴張、栽培物の整理等と爲す。然れども其實行に當りては勞力肥料種子の配給等頗る困難を伴ふを免れず、勞力の如きは壯丁應召の爲め著しく減じ、例へば一九一六年に於て英國の農夫は百二十六萬餘人中六十七萬餘人出征したりと報せらる。獨佛墺諸國に在りては其比更に甚しきものあるは言を俟たず。而して郷里に殘留せる者は老幼に非ざれば婦女のみ。餘儀なく各國は盛に俘虜を使役し、或は應召兵又は學生に休暇を許し、或は市街地居住民及び無業者を強制的に使用する等所謂農業動員を實施したり。肥料の□□に□□□□石に仰ぎたる獨逸にては空中窒素を代用し、又野戰軍にて屠殺せる獸類の内臟等より生ずる廢物に至るまで利用を怠らず。種子は其分配取締を嚴にし以て圓滿なる供給を圖り、之を直に食用に供するが如き濫用制限を加へ、英國に於ては之が爲種馬鈴薯規則の制定を行ひたり。或は麵麭の食ひ延し策として英國が強制を以て小麥の製粉率を定め又は他穀の混用を爲さしめたるが如き、獨逸の全穀麵麭、K麵麭の如き、火酒麥酒の釀造制限の如き、需給調節の爲め農家穀物を差押へたる如き、或は肉類野菜類の補給の如き、或は食糧品最高價格の制定の如き、或は占領地物資の利用の如き、其積極的生産增加と同時に消極的に濫費徒消を防ぐに苦心しつゝあるの狀見る可き也。擧國一致國民皆兵の狀を以て現戰爭に參與しつゝある各國に於て國民給養の如何は戰爭遂行上に重大なる關係を有す。開戰以來諸國内閣の交迭に際し常に國民給養に關する事項が重要なる問題の一として數へられ、而かも其關係の甚大なるものある所偶然に非ざる也。(完)

東京より
帝國主義
七月廿五日　一記者

○英國政治家其本土と植民地とを統一し、其關係を密接にさるを名けて、帝國主義と爲す。從來同化主義、統一主義、協同主義を唱ふるもの、共に相唱和す。此度の大戰役にて、英領各植民地相率ゐて、其母國の軍事に服し、誠忠義勇、世人の想像の外に出るものあるや、則ち帝國主義は、一層其光焔を上げ來り、此戰役以後、英本國と、其新領土植民地との關係に重大なる、改更を見るべき勢を成せり。

○夫れ帝國主義と曰ひ、統一政策と曰ふ、其精神は、全く相同じきや言を待たずと雖も、其實行の方法、手段は則ち、必ずしも一規に出る能はざるなり。今日英吉利の、母子關係を改更するの方策を議するもの亦自ら二種あり。其一は母子國共同の、内閣及び國會を設けて、純乎たる一大帝國組織を成すべしと爲すものにして、其二は、各植民地は、各々其自治的特別統治を保ち、只陸海軍及び交通經營若くは、關税政策等に就て、一統の規程を、設くるを以て足れりと爲すものなり。而して大體より、之を見るに、今日は帝國主義に、昂奮的熱度を、加ふる折柄なるを以て、第一說甚だ有力なるに似たりと雖も、冷靜に判斷するときは、第二說が最も自然にして、且實行的なるや言を待たず。

○吾人亦常に、統一主義を主張するものなり。然れども吾人の、統一主義と認むる所のものは、強て母子國を畫一の、規制の下に置かむとするにあらずして、其の相同じきを得るものだけを、統一するに止む、他の一方には、帝國の新領土、勢力範圍に於ける、諸經營を出來得るだけ、統一し、且對外經營は、總て同一の根本政策、同一の基礎的經營より出て、其の共働相助に依りて、其功を全くすべしと云ふにあり。乃ち我朝鮮は、地理上我帝國の領土的、經營の基礎たると同時に、政策上我對外經營の根本なり。力を其本に致して其末自ら舉かるべし、爲政者其本末終始を忘るべからず。

○近頃我本土の、政府當局者及び帝國議會の兩院、皆略ぼ其見る所を相同くし、大凡統一主義に、基くところの方案は、皆之を歡び迎ふの姿あり。是れ世界の氣運の、然らしむる所なりといふと雖も、抑も亦我帝國の、領土經營、對外經驗の教ふるところならざるべからず。吾人統一主義を主張するといふも、故らに強制的同化主義を、取るべしと云ふにあらず。

○所在人民の言語、風俗慣習の如きは、其の自然の醇化作用に、一任して可なり。只金融機關、交通機關の如きは、統一主義に依るにあらざれば、其功績を擧ぐる、能はざるのみならず、其事に當るもの亦、各々其窮屈に堪へざらむとす。是れ吾人の常に、是等機關の改革を提唱し、其の孤立割據の、弊形を打破するの、急務を說く所以にして、此度帝國議會が、東洋拓殖會社規模の改正を、承諾したるが如き、亦其一段の、進歩を示すものなり。若し朝鮮滿洲諸鐵道を一統して、其機能を全くするを得ば、我帝國の、亞細亞大陸經營

誰 (26)
布施生譯

阪は平生鏝骨大探偵を親分と賴んでゐる。だから其面前へ出るのに何も怖ける譯はないのである。其意氣込で家を出たが、大探偵の宿のあるモンマルトル街まで來ると、何時か勇氣は無くなつて何となく足も重くなつた。宿まで來ても案内を請ふのが苦勞で〳〵いつそ此儘引返さうかと思つたが、思切つて呼鈴を引いてみると出てきた女中は幸ひ顏馴染で『おや阪樣、お珍らしい事、今日位丁度こいふ處へいらした事はないわ、旦那樣が先刻からお待ち兼ですのよ』『何已を大探偵が待つてんか。』と阪は腹の中で膨れたが『さあお早く。何を愚圖〳〵して在つしやるの。』と促がされて後めたい思を隱しながら案内につれて這入つて往つた。大探偵の居間は讀者の書齋と役者の樂屋とを兼ねたやうな飾付で、其中に大探偵は中央の書箱を前に机に向つて坐つてゐたが、身を屈めながら躊躇這入つて來る阪を見ると、『やあ來たな。』と聲をかけた、そして阪が挨拶をしやうとするのも聞かず押冠せて『何だ鈴富一件に對する君の拙さ加減は。』と怒鳴りつけた。阪は周章しながら『どうして御承知なんです。』『知つてるさ、君は何もかも混淆にして今では筋道が立たなくなつたのだらう、そしてもう投げやうとしてゐるんぢやないか。』『いゝえ、ですが。』『まあ聞け、阪、上役を出抜いて自分の手柄をしやうとする奴はさう處分したら善いと思ふ、折角好い調が手に入つても、それを悉皆上役に報告しないで、それが爲裁判が變な方に曲つて往くのも知らない顏してゐる奴があつたとしたら如何だい。』阪は薄氣味が惡くなつて思はず一足後退つたが『そんな奴は、そんな奴は。』『押掘出せといふのだらう、さうだ押掘出す外はない、處で阪、その押掘出される奴といふのは實は君だぜ、おい阪、君も僕も二人共意地が強いな、手々に自分の思つた方へばかり歩いてゐる、吾々二人は右の方へ獲物を追つて往きながら裁判官には左の方を往かせてるんだ、なあ阪、そうぢや無いか。』

『でも私——。』『だまれ、貴樣は檢事に自分の檢べた結果を一つも殘さず報告したか、檢事は一生懸命鈴富を疑つてゐるのに貴樣は保部老人を疑つて老人の下男に取入つてゐるぢやあ無いか。』はてな、大探偵は眞正に腹をたてゝゐるのだらうかと阪は其眞意を量りかねて何と言葉もつげなかつた。大探偵は頓著なく『貴樣ももう少し悧口かと思つたが、なあ阪、あんな事ぢや貴樣、大將には勿論なれないが一兵卒としても矢張り駄目だぞ。』『謝罪ります。』と阪は兜を脱いだ『如何にも御の通りに相違ございません、ですが一體今度の事件はどうしたら可いのでしやう。』大探偵は笑ずくめた、そして平生の調子に歸つて『馬鹿、君はあの日署長に隨いて現場を調べに往つて、そして、さあ多分己の想像に間違は無からうと思ふ、何方の鍵で金庫を開けたか直に調べがついた筈ぢやないか『分らんかい、金庫のヤニスに疵があつた事は流行に君だつて氣が付いたらう、そして檢査の結果之は金庫を開けた抽子につけたものだと鑑定したぢやないか、そんなら何でつけた、言ふ迄もなく鍵だらう、そうだらう君』『はい。』『可いかい、鍵だらう、そうなると君は早速鍵を捨てゝゐる二人からそれを出させて其尖頭を顯微鏡で檢査する、なに鍵の尖頭に少しでもヤニスが附いてゐる方が即ち金庫を開けた鍵たらうぢやないか。』

白頭山十律(其三)
松田學鷗

試賦名山帳素山、欣吾健脚此登臨。舉頭開閣才尋尺、放眼雲煙暖露陰。幽遷花飛仙鹿臥、谷鳴月印老龍吟。探奇秘亦王事、一任烏巾霜雪侵。

洪歌撫劍感無窮、條忽興亡四顧中。曆路總通危自險。(此人愛聽日本故事名路)虎擁憶契丹雄、兔來名鉄千年樹、吹遊湖沙大陸風。永業寂寥八跡絲、叢花深處睡熊。

擧手應捫北斗高、天風浩浩拂征袍。飽餐流瀣宵途健、憶到英雄心亦豪。劍卑跪指顧鬼青、鳴絲等絲毫。廢興豈北千年踏。笑撫腰間日本刀。

烟石縱橫望舊嶷。紛紛地勢役吾魂。姓吐納二邦界、星漢合離三水源。(深淵清源)(鴨綠豆江)誰給興圖遺後世。當恢版籍定中原。輕生細穴親臨檢、聊撥涵埃酬聖恩。

萬里天涯卅歲遊、白頭山上且高眺。曾逆水草滿蒙古、今被雲霄望鄂鑾。謂能觀仙藥振衣孤合溯銀河。生不欲藏山藏志。書錢功名一笑。

土居香國曰、十篇雲煙香吐、水石開闔、秀麗無比、登秘踏若踏雲梯、朝玉皇、蓋近日所希觀、一大文字也、矢土錦山曰、蒼蒼雄逸、描深山大澤光景、有驅聘巨鰲之概、高野竹隱曰、白頭山從來惟有吳漢槎一賦、藏在其秋笳集中、蓋亦從鄉古搭望見而作、其登山題詩、當以學鷗爲權輿、背着觸緒茫茫、與會淋漓、下筆已吞雲夢八九、不徒以模山範水爲工、情可推登高能賦也、

廣告

移轉廣告
今般市區改正の爲左記の處へ移轉仕候
京城長谷川町四十二番地(朝鮮銀行横)
ヒオキ商會
電話一二〇二番

株式會社第一銀行 第四十二期營業報告
貸借對照表

負債之部	
資本金	貳七、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
積立金	[illegible]
諸預金	[illegible]
公金預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
特別當座預金	[illegible]
定期預金	[illegible]
諸預金	[illegible]
他店勘定	[illegible]
賣渡外國爲替	[illegible]
仕拂承諾	[illegible]
借入金	[illegible]
銀行券銷却資金	[illegible]
本支店間未達勘定	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未經過割引料利息及	[illegible]
前半季繰越金	[illegible]
當半季純益金	[illegible]
合計	[illegible]

資産之部	
未拂込資本金	[illegible]
貸付金	[illegible]
當座預金貸越	[illegible]
割引手形	[illegible]
荷付爲替手形	[illegible]
他店勘定	[illegible]
買入外國爲替	[illegible]
仕拂承諾見返	[illegible]
所有公債證券	[illegible]
諸外國債	[illegible]
社債及株券	[illegible]
營業用土地建物什器	[illegible]
所有不動産	[illegible]
預ケ金	[illegible]
現金有高	[illegible]
合計	[illegible]

利益金勘定

當半季純益金	[illegible]
前半季繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
内	
役員賞與金	[illegible]
行員恩給及退職給與金	[illegible]
積立金	七〇〇、〇〇〇・〇〇
舊株配當金(年壹割壹分)	[illegible]
新株配當金(年壹割壹分)	[illegible]
後半季繰越金	[illegible]

大正六年七月
東京市日本橋區兜町壹番地
株式會社 第一銀行

頭取 佐々木勇之助
取締役 男爵 三井八郎次郎
取締役 熊谷辰太郎
取締役 日下義雄
取締役 佐々木愼思郎
取締役 公爵 德川慶久
取締役 田中源太郎
監査役 土岐　
監査役 尾高次郎
右各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證ス
追而取締役佐々木勇之助、三井八郎次郎、熊谷辰太郎、日下義雄、德川慶久及監査役土岐横、尾高次郎任期滿了ニ付改選致候處總テ再選重任仕候

第八期貸借對照表
大正六年六月三十日現在

資産	
諸貸出金	[illegible]
預ケ金	[illegible]
雜勘定	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
未拂込株金	[illegible]
營業用土地建物	[illegible]
所有什器	[illegible]
所有不動産	[illegible]
金銀有高	[illegible]
合計	[illegible]

負債	
諸預金	[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
滞貸準備金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金處分
一金三萬六千五百七十六圓九十四錢　當期利益金
一金二萬四千九百二十五圓三十錢也
金一萬千六百三十一圓　前期繰越金
金千五百四十二圓二十錢也
合計金一萬三千 ……
金六百八十圓也
金四百八十圓也　内
金一萬五百九十圓也
金千五百二十三圓八十 ……
右ノ通リニ候也
大正六年七月二十五日
株式會社 京城銀行
取締役頭取 中村再造
取締役 古城菅堂
同 利田常市
同 山口太兵衛
監査役 古城梅溪
同 梶原末太郎
同 秋吉富太郎
前記各項調査候處相違無之候也
追テ重役全部任期滿了ニ付改選致候處總テ重任セリ

最新刊
朝鮮總督府遞信局
競爭入札購買
一、鐵線參點千貳百九拾貫
一、貳百磅銅線千參百貫
詳細七月廿八日ノ本府官報ニ在リ

●人格の力　紀平正美　一、〇〇
●漱石文集　藤田信亮　一、〇〇
●紀行文粹千山萬水　文章講習會　四〇
●日本アルプス縱斷記　戸直識　一、二〇
顧問田博士講評　八五

天然生活法
●作歌の近講話　尾山篤二郎　五五
●怪傑山井正雪　細川風谷　一、〇〇
●血潮の本願寺　中橋徳五郎　一、二〇
●つむじまがり　宮武外骨　五〇
●發明家物語　工業教育會　五五
●小學教育の最近研究　帝國教育會　一、六〇
●日々應用する禮儀作法　小泉江外　四五
中村敬宇先生遺文　定價六十五錢

學生及青年の修養良材作文軌範
●草書のくづし方　渡邊岳陽　四〇
●イソツプ物語詳解　紀太藤一　八五
●注要肉眼的鑑定便覽　小泉忠夫　五〇
●最新鑛業家要覽　日花山　一、二〇
京城本町一 電話六四●(振替京城二五七三番)
大阪屋號書店

嫁入文庫各編賜台覽

化粧の卷
最新刊 定價一圓 送料八錢 四六判總布 金文字函入 美本
人の美醜は多く生れ付きによりますが或程度までは體に頭の磨き方によります。さうした文明が進むに從つて段々身だしなみといふ事になつて來ました。昔の女子は己れを愛するものは綺麗になつてまでしたが今日では更に清潔とか體の衛生とか容色を爽快な氣分とかやうな事から考へて眞に生きた身だしなみを欲するやうになりました。是非本書をお讀み下さい身だしなみに關する一切の事が實際的に說かれてゐます。
美は婦人の生命也美の眼識の高まるにつれ最近化粧法の如何に進歩せるかを見よ

嫁入文庫第七編愈々出來!
醫學士古宇田傚太郎先生 水島幸子先生共著

嫁入文庫全部十二卷完結、内七卷既刊五卷未刊、毎月一冊宛發行。定價各冊一圓、送料各冊八錢。但全部前金申込に限り全部を十圓に割引、送料は一切本社にて負擔す。速に申込まれよ
嫁入文庫内容見本無代進呈

東京京橋區南紺屋町 實業之日本社發行 振替東京三二六番

尾竹竹坡 傑作品頒布會開催
現代大家
此機を逸する勿れ作品見本數十種あり入會御希望の方は郵券參錢御送附あれ(作品見本有り)
東京京橋弓町萬朝報社内
尾竹竹坡畫伯揮毫頒布會

八角鋼
好評嘖々!!
在庫豐富

ライオン印鋼總發賣元
株式會社東京鋼機商會九州支店
(小倉市室町壹丁目)
(電話特長二五六番)
(鑿材用鋼各種在庫)

秋蒔蔬菜種子
京城南大門通三丁目
戸田春藏本店
長電話三八六番
振替京城三七五番

○朝鮮藥學會口演の村田藥劑正發明
特許出願第三二九二八號
山林果樹園藝害虫驅除劑
シーエス液
本劑は特に松毛むしに効あり
元液一本 金三十錢 送料十二錢 (稀薄液二五〇倍にて三斗七升五合分)
朝鮮京城旭町一丁目電話一〇七八番
朝鮮京城元町一丁目電話四二四番
山田商店
取次販賣御希望の御方御申込下され度候

▲天候依然たり　天候依然として晴天打續き… 關係當局者は目下本年は挿秧當時旱天の爲め用水不足し多少移植期を失したる地方ありしも其の後の天候に……一部地方に於ては降雨を切望し居る有樣にて折角豐作を豫想されたる稻作も旱害に惱まさるゝ虞れありと

(市況) 廿八日後場 …… 平均値段 ……

○二十八師漸く平定 張督軍の勢力東三省に延ん

動揺せる第二十八師は張督軍が同師長を兼職するに依りて漸く平定せり督軍に直屬せん事は同師側の主張にて張、汲兩旅長は張督軍を師長に戴けるを悦び二十七日賀表を同氏の許に送り来れり又孫旅長の第二十七師長承認は同師部内に反對あるも會議の結果結局中央よりの命令あり次第一兩日内に發表の筈なり黒龍督軍に新任せし鮑貴卿氏は張督軍の親戚にて其の新任は張氏の後援に依る今後張氏の勢力は益々東三省に延びん(奉天特電)

○清室優待條件存續か

清皇室に對する優待條件は依然として暫らく存續す可く更に時機を觀て變更さるゝに至らん(北京電報)

○英潜水艇撃沈さる

英國潜水艇シー三十四號は獨艇の爲め撃沈せられ水夫一名生残りたるも捕虜となりたり(倫敦電報)

○西南部軍司令官更迭

ペトログラード軍管區司令長官ホロッツエフ將軍は西南部戰線に於ける攻勢の際勇名を馳せたるエルデリ將軍こ交代して戰線に派遣を命ぜられたり(露都電報)

○婦人義勇軍の大手柄 敵兵百名を捕虜とす

婦人義勇軍大隊はスモルゴン、クレウオ戰線に於て戰闘に參加し敵兵百名(内士官二名)を捕虜とせり大隊長は戰死しカレッ夫人は負傷せり(露都電報)

○細民局設置か

内務省にては勞働者の爲め細民局設置の計畫ありと(東京電報)

○勅任内務部長

地方官優遇實行の爲め勅任内務部長約十名を置く可し(東京電報)

○隈部大佐榮進

二十八日附辭令を以て左の通り發表ありたり(東京特電)

京畿道憲兵隊長同警務部長 憲兵大佐 隈部親信
任陸軍少將 補關東都督府憲兵隊長

○總裁長官通過

中村滿鐵總裁、白仁關東都督府民政長官は二十八日門司發商船嘉義丸にて歸任せり(門司特電)

○ブース大將來鮮

救世軍大將ブース氏夫妻は二十八日夜入港の聯絡船壹岐丸にて釜山着同十一時發列車にて京城に向へり(釜山特電)

○鐵道委任調印

朝鮮鐵道委任契約書の調印は愈々七月三十一日午前十時東京よりの電報を待って山縣政務總監國澤滿鐵副總裁、大屋鮮鐵長官其の他兩鐵道關係者立會の上總督府官房に於て執行、了って一同鐵道局に赴き事務の引繼を爲したる後山縣政務總監は總督に代り鐵道局員並に關係者一同に對し一場の訓示を爲す筈なり

新任陸軍少將 隈部親信氏

○司法取扱件數

朝鮮總督府裁判所及び檢事局に於て五月中に取扱たる事件數左の如し

▲民事事件 新受七萬六千四百七十五件、舊受三千三百十四件、合計七萬九千七百八十九件にして其の内終局せるもの七萬六千四百十四件、終局せざるもの三千三百七十五件なり

▲刑事事件 新受二千七百九件、舊受八百四件、合計三千五百十三件にして其の内終局せるもの二千八百二十六件、終局せざるもの六百八十七件なり

▲檢事事件 新受五千四百八十六件舊受一千九十一件合計六千五百七十七件にして其の内終局せるもの五千四百八十九件、終局せざるもの一千八十八件なり

◉全南棉作良好

全羅南道の棉作に就き道當局者は語つて曰く最近谷城よりの報告によれば同地は去る十五日開花を初めたる趣きにて本道としては最も早く開絮したるものなるが本年は去る六月十二日以前に播種したるものは十二日以後の降雨にて發育凡て良好なるもそれ以後播種せしものは雨量猶十分ならず從つて草丈低く發育前者の如からざるも枝數多きを以つて作柄として大勝ち不良なりと云ふべからず之を概稱すれば本年の棉作は前年に比し遥かに優良なりと云ふべし

◉鬱陵島の植物 總督府より保護を命ず

慶尚北道鬱陵島に繁茂しつゝある諸種の樹木中南望臺山國有林の道路部落に近き部分にはタケシマヤツクバネウツギ、タケシマタイトサンザシ、又聖人峰の上部にはタクシマタイヤ、タケシマカエデ、コバマユミ、タケシマブナノキ、タケシマシヤクナゲ、タケシマヤナギ等にして日本内地に於ては多く之と同種類のものを産するも朝鮮本土並に世界大陸各地には見ざるものあり依つて朝鮮總督府は之を學術研究の材料に充てんが爲め保護する事となり此旨同道苑通牒せり

◉組合更正豫算説明

既記の如く大正六年度京城學校組合歳入出豫算更正及び追加の件は去る二十日組合會に於て可決せる所なるが今其の内容説明を見るに左の如し

▲歳出經常部(更正) 第七款學校衛生費 本款に於て金七百圓を增したるは囑託校醫に特別賞與金を支給せむとすると囑託校醫缺員中臨時醫師を備入るゝの必要あるべきを豫想し之等の經費を豫算したるに因る

第十二款豫備費 本款に於て金七百圓を減じたるは學校衛生費中雜給に充當せむとするに因る

▲歳入經常部(追加) 第四款雜收入 本款に於て金百圓を追加したるは債券に對する償還元金を受入れむとするに因る

▲歳入臨時部(追加) 第三款補助金 本款に於て金六百圓を追加したるは鍾路及び元町兩小學校補習科經費として國庫補助ありたるに因る

第五款財産賣却代 本款を新設し金五十圓を豫算したるは元育坂病院に使用したる建物は近時頗る廢頽差向他に利用の途なきを以つて之を賣却せむとするに因る

▲歳出經常部(追加) 第三款小學校費 本款に金六百圓を追加したるは鍾路及び元町兩小學校補習科經費として國庫補助ありたるに依り之を以つて必要缺くべからざる備品其他の經費に充てむとするに因る

第八款基本財産造成費 本款に金百五十圓を追加したるは債券に對する償還元金及び財産賣却代を基本財産に編入せむとするに因る

以上の如くにして結局本年度京城學校組合豫算は歳入出既定豫算總額二十七萬四千二百七十八圓追加豫算額七百五十圓即ち合計豫算總額二十七萬五千二十八圓を算する譯となる

◉電信發著復舊 佐連線全通の結果

七月十七日以來障碍不通となりゐたる大連佐世保間海底電信線は遞信省作業船沖縄丸二十六日大連を出港して障碍現場に急行相當手を盡したる結果二十八日朝全通したる旨遞信局に電報ありたるため激增しゐたる朝鮮經由電報は當然該線による分だけを除き平常に復すべし尤も前日来京城、東京線若干不良なりしため通信の延滞を生じ居るに付多少の遅延を免れざるもコハ遠からず復舊すべし

▲當局者は曰く『大連佐世保間海底電線不通の爲め内地滿洲間電信は朝鮮を經由することゝなりたるを以て京城局にては此の線に屬する電信を中繼する爲め一日二千六七百通以上の受送信を合せば一日殆ど三千通以上の電信を取扱ふことゝなりしを以て非常なる大輻輳を來し爲めに内地朝鮮間の電信は普通十四五時間乃至十八時間を要する狀態なりしが該不通個所も二十八日午前零時漸く復舊せしより常態に復したるものゝ未だ當分は多少の遅著を免れざるべし然かも朝鮮内地間の電信は逐日增加の一方にして殊に東京、江戸橋、中央局の如き元來が手不足なる所へ目下電信係員中病氣缺勤者意外に多き爲め自然電信の發著共に當分遅著するは誠に已を得ざる次第なり』

◉釜山より露都へ 鮮滿急行列車の接續

鮮滿急行列車の滿鐵線内及び同列車に接續の東清線列車時刻其の後一部改正せられたるにより釜山露都間連絡急行時刻左記の如く變更せり

▲釜山發露都へ

釜山發	水曜日	午後十時三十分
南大門發	木曜日	午前八時二十分
安東發	木曜日	午後六時十五分
長春發	金曜日	午後一時
哈爾賓發	同	午後七時五十二分
滿洲里發	土曜日	午前十一時三十四分
イルクツク發	月曜日	午前三時三十四分
オムスク發	水曜日	午後四時
露都著	土曜日	午後九時五十五分

▲露都發釜山へ

露都發	木曜日	午後七時五十分
オムスク發	土曜日	午前二時三十五分
イルクツク發	月曜日	午後四時二十四分
滿洲里發	水曜日	午後二時七分
哈爾賓發	木曜日	午後十二時五十分
長春發	木曜日	午後七時三十分
安東發	金曜日	午前十時四十五分
南大門發	同	午後九時十分
釜山著	土曜日	午前六時十分

以上の如くにして倚安東長春滿洲里驛に於いて各標準時を異にするにより旅行者は以上三驛にて時差の更正を要すと

新露國より(四)

露都 彼列島六生

九、拙者等露國に居る者は同盟罷工といふものは行つて見ないと勞働の神聖を感じないやうな心地がする蓋しこれが當時第一の流行であらう如何なる種類の工場も皆行つた。時節柄皆成功した。今は洗濯屋の罷業最中で二留五十哥のカラーの一本買をして居る氣の毒な外客もあるが、公益の爲め我慢して貰ふ外はない。洗濯屋迄はまだ好いが、銀行員のストライキには驚ろいた。而して此のストライキが日割を以て各行別に擧行される秩序あり餘裕ある態度には更に驚かざるを得ない。成程戰時のスペシアルボーナスだけでは、目下の生活難を補給し得ない、且勞働の神聖を知らしむる爲めには斯の如き爲辭勞働者が範を垂れねば社會を指導するに足らぬのだと、遂には國心したが、初め様子が呑込めないうちは、經濟界の事變出來に非ずやと少からず脅かされたものであつた。

十、勞力の不足に基因する支那人及び朝鮮人の誘致は決して悪い事ではない。現在露都附近に在る者でも二萬以上であらう。曾て道途長春を過ぎ同地の仲介者某爺が支那勞働者を歐露に輸送したるも歸還する者無き爲め、支那人の間に奇怪の噂起り、同胞は歐露に送られ、最前線の危險工事に使役せらるゝと唱へ出し、某爺を破壞したるを聞いたが、事實は決して然らず、皆露都の郊外に在りて重要なる或工事に從事して居た。又採木伐林の事に從つて居るらしい。但し衣食も此の際到底滿足なる能はず、冬のうちは凍死する者も少くなかつたと云ふ事だ。先日露都の東洋語學校の某支那人先生は、當局に談判に行つたと新聞に出て居た。彼等が日曜に街上群を爲して日向し、或は銃劍の嚴視の下に一屋に集團せるを見る時は、漫ろ惻隱の情を禁じ得ないのである。彼等は『ホージャ』と呼捨てられて小さくなつて居るが、日本人を見ると懐しげに寄つて來る。過日も停車場で、先生是中國人かと呼びかけられたのが事の發端で、怪しい支那語が解つたゝめ、二三の問答を交すうち邊りは黒山の人集りで之を押し分けて逃げ出すには相當の努力を要した。

十一、名物の白夜に入り、午後十一時に尚街頭人顔を辨ずべく、午前一時既に窓下馭者を物色するに便である。窓掛を下して遥かに友を懐ひ静けき眠に入る。(完)

(大正六年六月二十六日、ペトログラアドにて)

◉隈部少將發期

京畿道警務部長陸軍憲兵大佐隈部親信氏は別項の通り這回陸軍少將に昇進關東都督府憲兵隊長に榮轉することゝなり三十日午後九時四十分南大門發の列車にて家族同伴赴任の途に就くべし

◉救世軍印度總師

救世軍印度總司令官英國人ブース、タッカー少將は夫人同伴七月二十九日午前八時五十分南大門著の列車にて入京し同夜出發す可しと尚ほ氏は救世軍創業の名將にして年齢七十を踰え佛語及び數種の印度語をよくし外務長官米國司令官等の重任を經現今印度の總司令官たり

◉持地長官動靜

南鮮各地巡視中の持地遞信局長官は廿六日午後十時群山より木浦に到著したるが二十七日光濟丸にて七發島へ向ひ多島海を視察し濟州島より八月三日麗水へ到著馬山大邱を經て七日歸任の豫定なりと

◉聯絡貨物引換代金

日鮮聯絡貨物引換代金換算率中朝鮮鐵道局線著の場合は本月二十八日以降當分の内露貨百留に付日貨四十二圓となりたり又朝鮮鐵道局線發日滿聯絡旅客運賃中長春著驛間露貨運賃の換算率は八月中露貨百留に付日貨四十圓となりたりと

◉倉庫營業取扱特約 鮮銀

鮮銀第一、十八、百三十、京城、漢城、朝鮮商業、韓一、大邱、鮮南、慶尚、農工、湖南農工、平安農工、全州農工、成鏡農工等の各銀行にては債權の擔保として鐵道局發行の倉庫證券を保有する場合該證券上の貨物の出庫預替等を爲す時該證券の提出に代へ銀行より口添證を發行し鐵道局は之に依り特別の取扱を爲すことゝ契約したるが其取扱方は特約銀行へ預入中の倉荷證券貨物の出庫預替に關するものに準依するものなりと

◉金剛山地形圖

土地調査局にて測量の上製圖中なりし金剛山地形圖一萬分の一は此程參謀本部より發行市中に發賣し居れるが同山の地形圖は調査局にても扶餘城開城慶州と共に特に遊覧者の便宜を圖り各種の事項を記入する事となり居り五色刷りにて頗る美麗詳細なりと

□電報不著

電報輻輳の爲め東京方面よりの分は大部分本紙締切の間に合はざりき

人事消息

▲牧猛氏(參謀本部附工兵少佐) 二十八日夜入京不知火へ
▲徳永秀明氏(理學博士) 同上天眞樓へ
▲松元光三氏(貿易商) 二十八日夜退京
▲大幸頓瑞師(東本願寺朝鮮布教監督) 南鮮地方布教巡錫のため廿八日午後七時五十分南大門驛發大邱へ向へり来月四五日頃京城へ歸着の豫定
▲前田昇氏(高等警察課長) 二十八日午後五時十分南大門驛着歸任

南言北語

獨逸軍閥派の機關紙コロン、ガゼットは『世界的政策の目的と手段』と題して▲日露獨同盟の必要を論じて居る▲最も此の問題は獨逸の軍閥派に依つて唱道せられて居ることは一再ならず聞いて居たが▲何うも獨人は夢想に望みを潜く人種で歐洲大戰でも矢張り未だに獨逸が勝つと思つて居るらしい▲之れ位の夢想狂は鳥渡世界には珍らしい▲全く日本に強盗のお仲間入りを勸めて居る様なものだ失敬千萬な▲渇しても盗泉の水は飲まぬ腹は減つても空腹うないぞ▲歴山大王の股肱として世界征服の門出に上つた勇士の子孫として▲露軍の敗走はスラブ民族の大なる侮辱ではあるまいか▲斯る侮辱を忍び射殺命令を犯して迄も潰走する露兵の眼中には▲最早祖國なく聯合國なく唯誤れる自由思想の瀰漫せるのみ▲露國の革命はロマノフ家を亡ぼしたが無政府共産主義…………自由思想は遂に大露國を滅亡に歸せしめんとして居る▲ケレンスキー君の戰地急行が果して頽濤を回らすの力ありや否▲過日大隈侯と三浦觀樹將軍とがさる所で出會した▲禪機縱横の兩和尚の見參何條一問答無くして濟むべき▲觀樹老先づ近況什麼と參る▲隈侯曰く隱居閉門サ▲觀樹老徐ろに指頭を以て唇端を撫し『此處は何うぢや』▲閉門處か長廣舌益々盛んな隈侯▲之には流石一語なく唯ハッハッハヽヽヽ

◉煤鐵事業擴張 第二熔鑛爐完成近し

[illegible]ら其製造を急ぎつゝあるも元來注文當初の契約に據れば昨年七月中に全部竣工の筈なりしもの材料の供給意に到り少からざる影響を受け契約期限より一年以上遅延するの不幸を見るに至れるも近來其工程大に進捗し[illegible]て十萬噸以上の能力を有する事とな[illegible]内外の熔鑛能力は今後一躍倍加し[illegible]るべし而して同公司は引續き第三期[illegible]現する事とし當分見合す方針なりと(本溪湖)

◉東洋銀行計畫

[illegible]附屬地郵便局前に設け日本商法に依りて一般銀行業を營む筈なるが近く正式に當局に申請し[illegible]

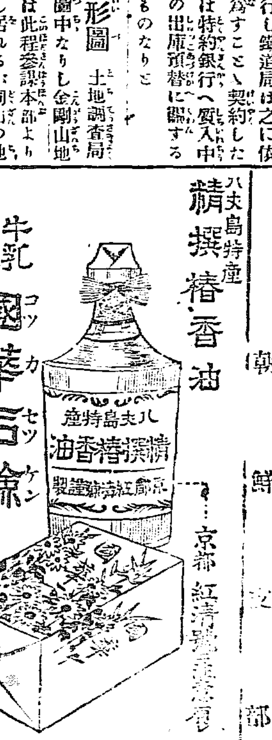
[illegible]滿鮮視察中の東京女子高等師範學校生徒一行は二十八日商船蛮南丸にて門司に歸來せり(門司特電)

[illegible]り金[illegible]を依頼されたる際預かりたる印章を押捺して金を借入れ内金十圓を騙取したるを手初めに同樣手段に[illegible]

[illegible]龍里柳[illegible]及び同所[illegible]は互に我が田へ水を引かんと爭ひたる末柳は小刀を以て崔の頭部に斬り付け治療[illegible]

◉業務擴張上各地に監督所長を募る
希望者は郵券六錢封入速に左記宛照會の上詳細を承知す
本社 東京市麹町區麹町六の五 日本勸業貯蓄合資會社
支部 朝鮮平壤府陸路里二二六 朝鮮支部

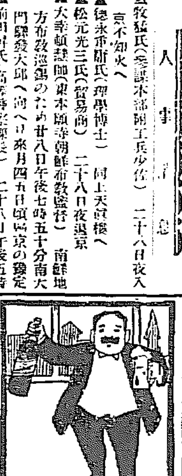
八丈島特産 精撰椿香油



京都 紅清[illegible]

牛乳二優 國華石鹸(コッカセッケン) 關西特約店
みやこ紅 白粉 都ノ雪 本舗 紅清謹

内科 小兒科
京城府明治町二丁目(本町江戸川横より入る) 電話三三七八番
入院隨意(普通病室 特等病室)
中島醫院 院主 中島貞信



サクラビール

○開業廣告
私儀此度總督府醫院を辭し左記の場所に開業仕候(普通産及難産需應)
光化門通(明月舘西側)
産婦人科 小兒科 内科
戸川醫院
女醫 戸川錦子 電話一七四番

尾張本場 宮重大根
其他各種子定價表無代進呈
尾張國西春日井郡新川町(青物市場附近) 平野和兵衛

肩の凝らない納涼喜劇
▲望み通り(笑劇) 二場
▲短氣者(喜劇) 一場
▲故郷(悲劇) 一場
▲闇の光(喜劇) 三場

平松興行部專屬
キネオラマ應用悲喜劇 鬼笑會來る
二十九日初日開演
主なる登場俳優 山本美瓢 小泉容峰 山口霞 長谷川瓢香 春木一樂 梅谷瓢兵衛 一谷一笑 福本瓢六 時田一瓢
入場料 特等一等七十錢 二等五十錢 三等三十錢
場所取りの御方は午前に本家に申聞被下度
京城 於 壽座
場内扇風器澤山設備あり

を計上し熔鑛爐一基增設工事中なるは既に世人の熟知する處なるが該熔鑛爐は目下滿鐵沙河口工場に於て專

站に於る製鐵事業經營の計畫進捗せる結果として同時に熔鑛爐製造の必要に迫り爲に製造力を分割さるゝ

げ九月早々其組立を了し各種の試驗を爲したる上十月よりは愈々熔鑛を開始すべく然る上は從來年額五萬噸

計畫あるも現今周圍の狀勢は急速に其決行を許さゞる事情あるを以て最初の計畫を變更し將來時期を見て實

一百萬圓の東洋銀行開設を計畫せるが組織は日支合辦にて已に支那側株主四十餘名の賛同を得たり營業所な

◎女子高等師範の視察團歸る

洞表具師金俊熙（三）は本年四月頃より貸金の取立て及び其の仲介等を初め同月二十二日李泰來外數萬千餘名よ

後十八回に合計二百七十圓騙取したることを發覺して鍾路署に檢擧さる

◎水喧嘩

全南光州郡林谷面

は光州署に拘引取調べの上檢事局へ送られたり

▽◆多島海巡り　＝1＝

◇愛想よき船長＝黃金の千波萬波＝赤手の成功者＝甲板上の月夜＝孤燈の下の思ひ出＝三千浦に到着＝元の賣藥行商

五道踏破旅行記者　李　光　洙

◆大枚四十五錢の金を奮發して、三千浦まで海神丸の一等客と澄まし込候。船車を問はず一等は之が始めにて、大いに男の上がりたる心地致候。愛想好き船長は釣れもせぬに綸を垂れて太公望を氣取り、小生は早速一等室に這入込み熟睡致候。成程一等は宜敷者、昨夜の二等室よりはずつと寢心地宜敷候。檣桁をつくりにてはありながら、鼻孔の如き三方の窓より、涼しき海風の流れ込むも宜敷く、柔かき敷布も枕も共に宜敷候。其よりか一等室なる稱呼の方、遙かに宜敷きやも知れず。

◆ぐつすり一睡、好い心持になりて甲板に出づれば、夕陽は名も知れぬ島の名も知れぬ山に掛かり、千波萬波黃金を溶かしたるが如し。露梁津を過ぐれば、遙か東方に周城の臥龍山の峻峰の、せす黒き雲に頭を隱くしたるが望まれ候。此處らも多島海にて何處も彼處も島だらけ。但し前に比べては多少疎らになり、其の形狀の漸次陸衝道式の峻嶮を見はす如く候。

◆定員六人の一等室には、上半日に日本に歸ると云ふ一人あり、十歳頃の可愛ゆき娘子と同伴致候。四の時朝鮮へ來たつきりにて、未だ内地を知らず、電車の何者なるをも知らず、困つたものなり等爺親の云へば、少女はさつと顏を赤らめて、『大阪へ行けば電車に乘るのよ』と拗ぬる樣、如何にも可愛く見受けられ候。爺親は年未だ五十を超えざるべく、太き鬚のよれる容貌には、艱難辛苦を闘ひたる跡見えて、赤手にて成功したる者と見受けられ候。猿股一枚にて連絡船の三等の隅つこに小さくなつて、朝鮮へ來りし其の昔を顧みれば、嘸得意の微笑を禁ずること能はざるべし、故郷に歸れば嘸皆の者にちやほやさるゝならん等、餘計なる心配まで致され候。

◆ふと甲板に出づれば、此に如何に三日月の西山に掛かれるが見られ候。昨夜多島海の眞中にて、見まほしき者をと怨めしく打眺め候。是亦多島海なり、兎も角も多島海の月を見たるなりと諦めを付けて一人嘗び申候。

◆彼の親子二人は、一つ寢臺に故郷の夢を結び、小生のみ一人、孤燈の下に兎れて此の文を草し候。不景氣なる赤岡にて約二週間も休業、幸に店仕舞の悲運丈は免がれて、斯く再び途方もない勝手な熱を吹く樣になりたるは、小生に取りては大喜びにて候。二週間の損失を多島海にて恢復せんなど、木浦出發の際は大した意氣込にて候ひしも、いざ來て見ればかんからかんの頭の、如何に搾ればとて旨き汁の出づる筈はなく、精一盃見て精一盃考へて、精一盃書きたるが御覽の通りの代物にて候。

◆汽笛鳴る。推進機止まる。三千浦に到着したるなり。船長は態々小生を見送り下されしらしく候。船員もボーイも親切如くして、御機嫌宜しうを浴せ掛くるには、一寸面喰ひ申候。餘りの事に小生もつひ眞心籠めて、何度も／＼頭を下げて厚意を謝し申候。されどもサンパンに降りれば、元の賣藥行商、巡査補の遠慮も會釋もなく、其方の住所は氏名は等と刑事被告人扱ひは一寸情なく感ぜられ候。（七月廿四日夜三千浦にて）

●南の海へ、温泉の里へと

車窓を訪づる、涼風に送られて

＝東萊海雲臺探涼團の出發＝

百何度といふ盛中の苦熱から、やつと脱れて、十日の夕月が吐き出すやうな涼風に搖れる街路樹の青葉がくれに瓦斯の灯ほの白う輝やくゆふべ二十八日の南大門驛は南の海へ

◇◇温泉の里へ＝

涼をたづねて心身共に輕らかな二日餘りの夏の旅に上る多くの人のために近頃稀らしい賑ひを見せた、發車定刻の三十分も前から踵を接いで驛に集まつてくる探涼團員を見れば白詰襟の服にステッキ一本を無雜作に抱へてる人

◇◇素足に浴衣こ

碎けた人など何れも鳥渡隣りへ行つてくるといふやうな手輕さはさすがに一見涼みの旅と首肯かれるのみならず、明け易き夏の一夜を水入らずの貸切列車の中にさんざめきながら遊び暮さうといふ一行の人たちには何れを見ても

◇◇愉快さうな色

が浮いてゐた、貸切列車は三等車でこそあれ鐵道局の好意で新造車を充てられたことゝて車内の清潔は言ふも更なり、寬濶な座席、眩ゆいばかりに明るい電燈など何一つとして團員の心を喜ばせぬものとては無く、赤車中には酒保さへ特に設けられてビール、シトロン、菓子

◇◇果物の類など

賣つてゐるので是亦頗る便利であつた、探涼團員はすべて百餘名、京龍の各階級の人を網羅して意氣滿車、見送りの人も非常に多く定刻より約十分遅れて八時萬歳聲裡に釜山に向つて出發したが、此の日宵の口から珍らしく吹き出した

◇◇夕風が涼しく

窓を訪づれたのは探涼旅行の發途に方つて頗る幸先きのいゝ事であつた

◎本社主催探涼團の出發

（上）＝借切列車に搭乘せる團員の一部

（下）＝見送りの群集

●空種子相場の大檢擧

開城に於ては空米相場を爲すと等しき方法にて去る大正四年以來盛んに公然的に同地産の白朶種子の商賣慣行せられ近時其の波及益々擴大し關係者百數十名に及び之が弊害は輕からざるより開城警察署にては署員を擧げ之が檢擧に努め去る十五日先づ重立たる

▲仲介者二十名を檢擧し該業務部以下徹宵取調べたるに何れも中流以上の商業家なるが是れにつき聞くに白朶種子の開城に生産するもの一箇年約二萬斗（一斗は五升）なるが之等の賣買總高約七萬斗に達し最初甲乙の賣方買方に分れ前年十一月頃に於て契約陰五月末の立相場を目當に賣買契約を結び買方より一斗に付手附金として二十錢を收受し置き逐次丙丁戊と此の方法により轉賣せられ結局は最初の甲と最終の戊との取引關係となり即ち陰五月末日の相場により現金の授受をなすにあり然して一方買方の者等は陰五月中旬頃より日々價格の競り上げに奔走し只管

▲利益の壟斷を圖る等當の白朶種子は單に其の名のみに過ぎずと依つて森脇署長は部下を指揮し百六十餘名を十五、十六日の兩日に亙り同署に召喚して懇々其の非違を諭し將來再びかゝる行爲を敢てせざる樣嚴重警告を與へ其々一先づ歸宅せしめたりと

●仁川海水浴開場

仁川經濟會主催の仁川月尾島の海水浴場は各係員の晝夜兼行にて盡力の結果二十八日を以て全部完成したるを以て愈々二十九日日曜日午前七時より開場する運びとなれるが當日の滿潮時は正午頃となるを以て京龍方面の浴客は一番列車仁川着午前八時又は二番列車仁川着午前十時にて下仁するを便宜とする由（仁川）

◎丹羽海鶴氏と揮毫會

日下部鳴鶴翁の高足にして曾て學習院教授たりし丹羽海鶴氏は朝鮮觀光の途次入京目下京城ホテルに滯在中なるが同氏は前記學習院に教鞭を執りし當時有栖川宮、北白川宮、朝香宮、東久邇宮各殿下に親しく奉教の榮を荷ひたる事あり、其の揮毫に係る中學習字帖の如きは現に教科書として採用せられつゝあり、氏の入京を機として工藤莊平氏外二十餘名の有志發起となり六十餘名の官民有志の賛助を得て海鶴揮毫會を組織し一般希望者の依頼に應ずべく希望者は京城ホテル内海鶴揮毫會宛申込むべしとなり

◎鬼笑會乘込み

二十九日より壽座に開演の筈なる喜劇鬼笑團一行三十餘名は二十八日午後七時三十分南大門驛着、座方及びサッポロビールその他の出迎へありて華々しく乘込みたり

◎人騷せの小火

二十八日午後六時頃京城永樂町二丁目愛國生命保險株式會社出張所生野蓄明方二階の欄干に乾しありたる蒲團に附近の煙突より飛火がして將に大事に至らんとせしも幸ひ蒲團の四邊を焦がしたるのみにて間もなく家人が消し止めたり損害額は十四五圓に過ぎざるも折柄斷水中の事とて急報に接するや

●農民三百六十名大邱に押寄す

◇◇◇水源池が出來た爲に田が涸れたと　鈴木道長官に陳情の爲め◇◇◇

慶北各地は未だ旱魃と云ふに到らざるに獨り達城郡備城面内約二千五百町歩の水田涸渇し被害一方ならざるより旱魃關係地に於ける鮮人約三百五十名内地人十餘名は二十八日午前十時大邱に押寄せ内約五十名は道廳に到り陳情する處ありたるが今事の此處に到りし理由を聞くに備城面稻作旱魃の被害著しきは晴天の連續せる爲めならず大邱水道敷設の影響なりとせるものゝ如く鮮人の中には水道水源地を破壞せばやと敦圍けるものすらありしと右に就き鈴木道長官は陳情の意を諒とし相當の便宜を計るべければとて同十二時頃一同を引き取らしめたり（大邱特電）

うわさのうわさ

二十八日の午前十一時頃より朝鮮銀行の高い煙突から白い煙りをモク／＼と吐いた▲煙りは午後三時頃迄續ゐたが、其の間に八十一萬枚の一圓札が燒かれたのである▲一口に八十一萬枚と云ふけれど、其の現物は大したもので、一萬圓束が八十一個積んで小山のやうである▲此の物價は騰貴して生活難の聲の烈しいセチ辛い時、八十一萬圓と云ふ大金を煙りにするのは惜しくてたまらぬやうだが▲銀行より見れば、其の紙幣は汚れたり裂けかゝつたりしたもので、市場の流通に適しないのを引き上げたものである▲其の金は永い間人の手から手に渡され色んな方面に使はれたらうが、其の間に人の手垢……あぶらが附着すると見え、モク／＼上る煙りには人を燒くやうな匂ひが幾分混つてゐるとの事▲序でに鮮銀には發行課の中に燒却係と云ふ一係りがあつて始終汚損紙幣の事務を執てゐる

▲送別庭球試合

◇運◇動◇界◇

炎天下の紅白戰

京電會計課長武者練三氏今回臺灣炭鑛株式會社重役に榮轉不日出發につき京城の好球者相寄り二十七日午後五時半より朝鮮銀行コートに送別試合を擧行せり武者氏は東京高等商業在學時代に大將組をつとめ東都斯界に名聲を揚したるが來鮮以來京城庭球界の爲めに貢獻する所多かりし事とて壯烈なる紅白戰ありしが興味ある試合は意外に時を移し日沒に至るも優退戰に至らず記念撮影をなし午後八時二十分盛會裡に散會せり

紅軍		白軍
○加納　荒木	―	尹　南
加納　荒木	―	○河井　永野
永井　吉田	―	○河井　永野
○菊田　坪井	―	松本　米田
菊田　坪井	―	○大田　島
武者　木間	―	○大出　島
○熊丸　立見	―	鈴木　宮川

八重齒の話

家庭記者

◆子供は生後六ケ月目から乳齒が生え始まり、三歳になりますと、其乳齒二十本と云ふものが生え揃ひます。そして、六歳までは其儘であります。この間が即ち乳齒の働く時期です。この時期に口中を不潔にして置きますと、齲齒に罹ります。乳齒が齲齒に罹りますと、次に生えてくる永久齒の出齦を大變妨げます。

◆六歳からは、今までの乳齒が抜けおちる時期で、其時期になりますと乳齒の根は次第に吸收されて、そのあとに永久齒がだんだんに生えて來ます。それが若し乳齒が齲齒に罹つてをりますと、その根が吸收されずに何時までも殘つてをりますから、永久齒の生える邪魔をして、正當な位置に生えさせません。そこで、永久齒は止むを得ず側の方に生えてしまひます。之が俗に言ふ八重齒です。

◆八重齒になりますと、その齒は正しい咬合をすることが出來なくなります。そして一本でも、斯ういふ八重齒が出來ますと、その他の齒にまで、非常に惡い影響を與へて、全體の齒列が惡くなります。これを不正齒列と言ひます。不正齒列になりますと、咀嚼も惡くなりますし、口の形も醜くなります。

◆それを直すのには『矯正術』と云つて、專門齒科醫の巧妙な手術に據る外はありません。それも、年齡で過ぎてゐますと、直りませんから、若い時程宜しいのでございます。たゞ不斷の心掛としてさうならないうちから、良い齒磨を朝夕、食後に必ず習慣的に使つて、齒の發生を嚴重に守ることです。

◆こゝで良い齒磨と云つたのは粉末の極細い、効果の確な、齒科醫者の良いと言つて勸める、世間に信用のある齒磨でなくてはなりません。さう云ふ齒磨は殘念ながら日本に澤山ない、今日のところで、ライオン齒磨が唯つた一つあるばかりです。ライオン齒磨なら、練齒磨でも水齒磨でも、外國品に劣らず精製されて、しかも日本人向に出來てゐますから丁度誂向で、齒牙口腔に對する効果も充分保證することが出來ます。

山河跋涉號

學生　八月號

北條早雲

主筆…大町桂月

▽アルプス山頂の壯觀…岩倉男爵　▽比律賓秘史…本多博士

▽富士八湖…田中阿子麿　▽日本風景畫報　八十五景　世觀偉觀

八◎涼を訪ねて山に登る暑を避いて水を涉る

◎印度の旅…伊東博士　◎北日本徒歩旅行…田口

◎廬山に登る記…石田學士　◎新和歌浦…高須梅溪

◎鮮海で鯨追…江見水蔭　◎漫畫旅行…岡本一平

◎日本三景…大町桂月　◎瀨戶內海…中村星湖

◎敦賀灣頭の國…大荊博士　◎蝦夷富士登り…

◎利根の中流…田山花袋　◎山四篇…

▽冷水浴の獎勵…永井博士　▽蟬の發音器解剖…林學士

▽夏季野球練習法…櫻井彌野　▽英文九十九里濱…吉岡教授

▽學生英字新聞　▽お臍の宿がヘ　▽新案懸賞其他

大懸賞投票募集　世界第一の物

定價二十五錢　郵稅一錢

東京神田　富山房　振替一〇五

"PINE"

是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!

◎大日本政府登錄　米國製正十四金「イリジューム」付ペン（責任保險付）

◎附言パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ケ年間交換又無料修繕

完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕

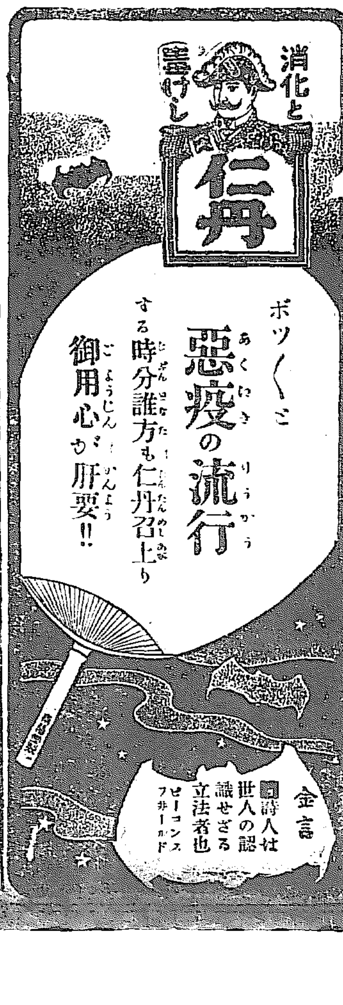
東京パイン萬年筆出張所　京城旭町二の六

堅牢無比

定價

發賣元　京城大平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

陳列所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

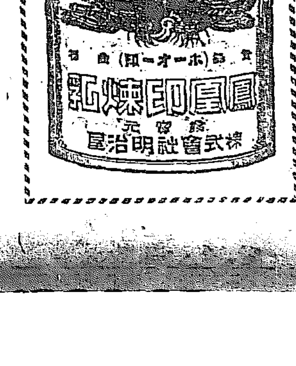


「ホーオー印」ミルクは

◎外國製品を凌駕し輸入を防遏したり

◎品質優秀名聲嘖々たるホーオー印ミルクを御愛用あれ……

發賣元　京城本町一丁目　株式會社　明治屋京城支店



花筐 (六九)

松田竹の島人作

早見は、凝乎とした態度で、
「それぢやお前は、實意のある客なら、身を任せやうといふんだね？」
「藝者といふものは、御客樣があつて立ち往くもんでせう。それも若い時なら可いんですけれど、年齢でも取ると、然う呼んで下さるお客樣はないんですからね。だから妾は、若い中に、實意のおあんなさる立派な方に、身を任した方が、先き〳〵の爲めに可いと思ふんですよ。それに妾には親父があるんですが、其親父は年齢を取つてるのに、此方の御庭掃除や畑を爲るのに雇はれてゐて、毎日々々隨分な骨折仕事を爲てるんですが、それが子として妾の身に爲ると、可哀想でならないんですよ。だから妾は好い旦那の御世話にでも爲れば、親父も樂にさせて往ると思ふもんですからね。」とお琴は濕つた調子で言ふ。
「お前は却々親孝行だ。其親孝行な點には感服するよ。併しお前の考慮には感服することが能きない。」
「そりや何故ですか？。」
「お前は、平素綺麗な衣服を著て三度の食事も、何んの痛痒なしに、美味いものばかし、喰べて往かれるのが、人間の善い事だと思つてるのかね？。」
「そりや然うぢやありませんか、然うすると親父を働かせないでも、樂に爲て遣ることが能きますからね。」
「ぢやお前は、平素立派な衣服を著て、三度の食も、樂に喰つて往かれさわすれば、甚麼ことを爲ても構はないと言ふのだね。」
「甚麼ことを爲たツて構はないといツても、泥棒を爲て、それで綺麗な衣服を著たり、美味しい物を喰べたツて、何んにも爲りませんわ。」
「然うだ、そりや善い考慮だ。お前の今言ふところに由ると、お前は樂に暮して往かれ、然うして親父さんに勞働させないやうに爲るには、立派な旦那の世話に爲らなけりや不可といふやうなことを言つたが、藝者も然うだし、又人の妾姿に爲ることは、決して恥かしいものではないと思つてるのかね？」
「そりや貴方、藝者や妾は、華族樣や何にか立派な方の奥樣や御孃樣よりか、賤しいのは分つてるぢやありませんか。」
「ぢや華族樣や何にかの奥樣や御孃樣は、身分が貴いとして、平素綺麗な衣服を著て、美味しいものを喰べてゐるとしても、何にかいふに言はれぬ苦勞があつて、然うして一點何にか心に疚しいことがあつても、倚且貴い婦人達だらうか、其事に就いて、お前の考慮を聞いて見たいが：」
お琴は、早見の此問ひに對しては何等答へず、莞爾と片頰に笑みを見せて、
「眞個に貴方は、先と悉皆變りましたね。」と瞥視早見の顔を見た。
早見は解り易いやうに、じり〳〵と順序を逐ふて說いた。
お琴は、縱令綺麗な衣服を著たり美味いものを喰べられるに爲ても、藝者や妾は、言はゞ人の玩弄物であつて、それだけ身分の良いのもではないと自覺してゐた。だから早見から其事に就いて訊かれると、自分が藝者であつただけに、恥かしい氣が爲て、鳥渡答へに躊躇した。
『什麼だね、お前の考慮は？……遠慮なく言つて貰ひたいがね。』早見の訊き方は、もの柔かであつた。
お琴は、俯垂れてゐた頭を擡げて凝乎と早見の顔を見たが、其眼は曇つてゐた。

著名印舗 京城本町一丁目 千代田號印舗 電話九八七番 口座九八七

日報俳壇

蚊帳

蚊帳吊らぬ鮮人宿や黍の風 六轉
禪堂の山靜さや蚊帳の月 同
踏張りて蚊帳の釣手や顔に落つ 小嵐山
蚊帳吊りて明し洒幕湖景哉 龍泉
會堂山に月出て蚊帳を孕む風 海雲臺
蚊帳を喜ぶ子供や訪ね來て 隈山
母や歸りし母屋は蚊帳に灯されし かよ子
千竿の竹に嵐や蚊帳の月 文哉
蚊帳の裾拂ふ夜風に兒は覺て 荳月
海の音に寝られぬ蚊帳明け始む 芳宙

□白楊會七月題 (城南北吟) 茄子、蛍扇(室內調度品)夏季結
池田孫朝選
天 遠雷や蚊帳に開く疲れかな 指月
地 扇使へば雲の去來や腓茶屋 浩舟
人 裝破起怱須にゐるき濾茶哉 味川
作
庭の茄子葉陰に二つ三つ哉
富士山に似し山見ゐて茄子畑
朝市に賣り行く茄子や渡舟
裏莞人の茄子買ふや今朝の市
客去るや妻が出て見る畑の茄子
大雨に雷迸まじき山路哉
雷や町出外れし杉木立
畑に鶲光る花菖蒲
隣室に洋燈を移す涼さかな
置棄に殘る茶盆や月涼し

新刊紹介

▲朝鮮語講義錄(創刊號) 菊川孫世氏主幹にして初學者及鮮語に通ずるの士に鮮語の通信教授を爲さん事を目的として生れたるものにして親切叮嚀を旨とし練習問題が多くして習熟に便せり本號には諺文の說明(小田切萬吉)諺文綴字法に發音法(藤村德吉)文法(同)單語(邱東山人)會話(林久次郎)朝鮮の風俗習慣(中樞院)及練習問題を收む鮮語研習者殊に初學者には最も適當なるものなるべし(毎月一回發行 入會金三十錢會費月三十五錢 慶尚北道大邱府三笠町二六ノ一朝鮮語講習會)

▲雞林文壇(革新號) 體裁を菊版に改め內容を整備せり即最近佛蘭西文學の傾向(蔭光直純)新劇勃興の第一條件(島村抱月)日鮮單語比較資料(小倉進平)作歌の態度(佐々木松堂)等の論說、天の使、ダンテ獄中の三婦人、倫敦の乞食、薄命詩人キーツ等の飜譯若山牧水、佐々木松堂、角田不案其他の短歌、幼(中村樂堂)聊の葉陰にて(大川秋村)病葉(草井南川)萬木舟(生駒穗波)等の創作他に誌友の詩歌俳句等數十篇を收む(二十五錢京城黃金町三ノ三四鬼董記)

▲新家庭(八號) 孫園笹百合の精(カセットト十一色刷)潮風(三色版)及依例名家令嬢家庭、時事寫眞數十葉を卷頭に讀物には佳境に入れる長田幹彥のゆく春、北島春石の巡禮歌を初め實說悲劇島の心中、何うすれば子供は賢くなるか、趣味ある盆景の話、溫泉地の印象、日本アルプスの雪峰を仰ぎて頭に夏季料理、女學校通信懸賞文藝等を滿載す(三十錢東京市芝區公園地九、玄文社)

▲朝鮮鐵道青年(七月號) 滿鮮鐵道併合と吾人の覺悟(和田鳳村)人と設備(井口彌壽男)シルレル著史劇(太田秀穗)及小說講談其他(會員組織朝鮮館內其會)

▲國技(東京大阪夏場所後記號) 大錦、栃木山、大鳴門、大潮到判記、東京大阪幕內勝敗記錄其他相撲道に關するもの十數(二十錢東京本所横網町一ノ一七相撲通信社)

▲保險新聞(第七年記念號) 保險事業に關する一切事項を網羅評せるものにして本號には保險界百花形統計、各社業務等を收む(九段東京神田北神保町八其社)

▲才媛文壇(八月號) 新らしい女流作家は何故出ないか(中村孤月)及小品、短歌、長詩感想等多く女流作家の手に成るものを收む(十五錢東京牛込神樂町一ノ一東亞堂雜誌部)

▲滿蒙研究彙報(七月號) 參考、研究構資料、法例、時事、產業各彙報及び滿蒙鐵道、支那醫科事業に附錄等の依例本誌獨得の好文字(各發月三十錢滿蒙研究會)

▲日本少年(八月號) 月下の夜襲戰、惡魔ヶ池、少年博士、初陣ものがたり、忠僕中吉、新案雙六の羅行の物語白し(十二錢東京々橋南紺屋町一二實業之日本社)

●渡米小學校長の出發日

東京實業之日本社が創立二十周年紀念事業として米國に派遣する小學校長視察團の一行は來九月十八日横濱解纜の春洋丸にて出發に決定し團長に東京高等師範學校附屬小學校主事佐々木吉三郎氏を其補佐役に東洋幼稚園主任東井家政女學校長を擧げ十六日より十八日迄三日間東京高等師範學校内に於て打合せを爲したるが東京帝國大學教授理學博士山崎直方氏の合衆國の地理と產業の分布狀態、帝國ホテル當務取締役林愛作氏の米國旅行中の心得、文學博士吉田熊次氏の米國の教育、文部省督學官生駒萬治氏の文部省の此擧に賛成の理由、立教大學校長元田作之進氏の米國の作法人情風俗等に關し孰も有益なる講話ありしと

●力くらべ

歐洲の戰爭は何日まで續くさやら未だに見當もつかぬ、近頃で日本は今こそ實き入時とあつて誰も彼も外國を相手に商賣を始めた結果は澤山の成金が出來た、現代は全く實力の世の中である、各自の力くらべであると云ふ處から、此際我が國の青年はその實力を養はねばならぬ日本社內帝國實業講習會では中學程度の『實業講習錄』を月二回發行して當代第一流の大實業家や大教育家等の顧問賛助に依り、自宅に居ながら學校に行くと同等の實力をつけ、直ぐに實際の役に立つ實業的知識を教へて居る、その講習錄の見本は同會へ申込めば無代で進呈するなりと

讀者の領分

●府廳の收稅方法は大分問題がある年額十六圓以上納める者の內に五百八十三人の怠納者のある事は納めぬ方が惡いのか取らぬ方が惡いか知らぬが其の中に現在の學校組合議員も五人あるとの事だ府廳は何故貧乏人許りいぢめずと斯う云ふのをなせ差し押へせぬか一體不公平だと云ふ批評は逃れぬ(貧公)▲京城水道は平生水道料をガミ〳〵云ふ癖に斷水となると何うも仕樣がないと來る然れば斷水を計算して水道料を差し引くべし餘りに鮑突を喰はすと水道料を不當の請求として告訴する事にせうではないか(山の手生)▲此の間初めて三箇月以來初めて水道係の判任官が檢査に來て水は每朝出ますかと聞くから每日十二時頃から鳥渡出ますので困りますと云つたら仕方がないから何處か下の井戸からでも汲むが好いと云つた何たる不都合な言ひ分だらう斯う云ふ手合が居るから市民を水攻めにして知らぬ顔して居る今度來たなら考へがあるぞ(旭町の住人)▲此の頃料理屋で出す麥酒の內にはひやし過ぎか何かで腹を惡くするものが多い麥酒其物が惡いとは云はぬが其の取扱方に氣を付ねば引ては麥酒の名聲にも關して來るよ(下痢生)▲近頃下痢すると可成隱蔽して居る者が多い彼れは檢病的戸口調査をやつて取締らねば一度虎疫でも發生しやうものなら忽ち大流行となる虞れがある(漢法醫者)

商況

大阪正米特電
(二十八日前場) ▲中米當付二十一圓七十四錢(先)
寄附 二〇、七〇 二〇、八七
高値 二〇、六一 二〇、八七
安値 二〇、四八 二〇、七〇
引け 二〇、六〇 二〇、八七

▲保合小堅し 大阪入電に接し二十九圓と纏りたるも買物多く三十三錢と跳れ三十錢丁度を押して保合の裡に小堅き成行を示して散會

▲休日越し加何 ▲因同店の賣四千餘石買千餘石 ▲同店の賣四千餘石買千餘石 ▲同店の賣三千餘石買三千餘石 此處月に際し二日の休日なる間際であつた不知休日越しの影響如何なるべきか

▲七川現物界 時計天候の如何に依り人氣の上に大變動を來すならんか

後場 寄付 廿八日の九月限 十九圓二十二錢

●全北宿作狀況 終了し生育狀態頗る良好

京日案內

普通 一回前金 五十錢 番外 一回前金(匿名一回分增し)
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず ▲六回以上の御申込は特別割引 ▲御照會の節は返信料御封入なき時は御返事致し兼ぬ

●店員入用 但多少算筆の心得と商才ある者市內に確實の保證人を要す 京城明治町二丁目 木村屋支店
●貸間を求む 閑靜なる家庭に間借致し度し 南山町二丁目二七 藤田組社員 349
■免許 土用やいとハリ 一回三十錢 本町一ノ三(龜屋横入) 電一三二六 狩野 300
▼古本 古樂器買受 信用絶大 ウツボヤ書店 電二五二七振二二三 221
番外 支那翡翠玉石美術製品 派價販賣 本町二丁目七十三番地 玉興福商店 347
◎しぼりばらには 健胃整腸散に限る 京城明治町 小川温知堂 345
訴訟 鑑定 債權取立 應依賴 報酬は成功の上 京城初音町一七八號 應接午後五時から 法學士 西川讓
見習書記入用 年齢三十歳以下中學又は商業學校卒業程度 當地に相當なる保證人を要す ◎履歷書携帶本人來談ありたし 京城永樂町二 十友合資會社
移轉 內科 小兒科 爲春堂醫院 本町三丁目三九番地 警務總監部通大倉組跡 電話九二八番 343
朝鮮語科 英語科 新學期 三ケ月修業 各級補缺 募集 京城青年會 346
恩給年金立替 五年迄 利一〇 一切千圓以上別契約 京城櫻井町(大正館向)元祖 博多屋本店 283
貸家 黃金町五丁目幽邃なる庭園あり廣闊閑靜空地畑地あり 間數八倉庫二浴場一家賃四十圓 電話一六七 二巴株式會社(酒造) 333
◎鑛物各種分析 太平町二丁目三六(電話一八二三) 遠藤醬油店向側入る 松永分析所 335
特選 純良 白菜種子 見本送付 壹合參拾錢 產地にて特別採收、栽培書添付 ◎京城堅志洞 振替四三八三番 大正產業社 339

著しく胃を爽快にする 强胃消化錠 マーゲン 島田藥學博士鑑査 特約店 京城南大門通二 新井藥房 大阪上本町五 田畑保藥房

質 大口 迎獄 京城黃金町長橋町入口 電話一九一六番 商品擔保便利取扱 田村質店

女ドクトル 中村齒科醫院 明治町佛蘭西教會坂下(淀路町入口) 電話一五一三番 分院(黃金町二丁目郵便所隣) 電話一八九番

購買入札 美濃紙 白紙 百貳十九萬六千枚 右購買ス 詳細ハ大正六年七月三十壹日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

京城附近又は全羅南道等に於て農作物豊富の耕作地壹町步及住宅と共に買却希望の方は下名へ通知されたし 大阪市南區日本橋筋二丁目七番地 花柳病專門藥舖 岡田海洋堂

西洋料理 おいしい事京城第一 アイスクリームあります 本町二丁目(元清水村本店跡) 福海軒 王文海 電話二七三七番

りん病 ばい毒 請合藥 京城南大門外 大阪ドラッグ商會滿鮮總本部 信事務通 詳細ハ本月廿七日ノ本紙ヲ御覧 信物アリ注意

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四〇番 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 毎日五名を限り

新荷著 懷中時計 スヰツル製 アンクル機械

機械堅牢 正確 針 美麗 價格低廉 實用的 天下無比

(ニツケル側)十八形(片蓋) 二圓五十錢 … 同十六形 … 同 八日卷 … ラジューム入 … 色付彫刻各色 … 金張(十年保險) … 金十八形 … 至三百八十圓 … 流行腕卷時計 … 同(銀側) … 同(銀側) [illegible]
右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し古には無き所の伏しにて御注文に對しては急速御用命小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商 イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

中元 暑中 贈つて體裁よく頂いて重寶な 御贈答品には一番です(大、中瓶は一本宛高雅なる桐箱入なり)

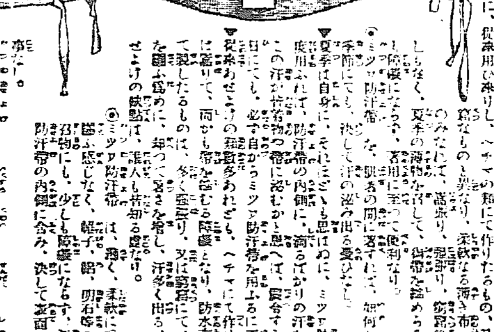
垢ぬけのしたうつくしい素顔とする ホーカー液

朝夕一滴づゝ
■色を白く、キメを細かにし
■アレを防ぎ、色艶を好くし
■夏の日ヤケを完全に防ぐ
■白粉下、トキ水によく
■子供衆の皮膚を丈夫にし
■生れつき色が白い樣に見せ
■紳士の髯そり後に適す
□美容効果□

定價		送料
大瓶	八十錢	內地無料
中瓶	四十錢	
小瓶	二十錢	

若し最寄の店に品切れの節は本舗宛直接振替又は三錢切手代用にて御注文を乞ふ
本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 振替口座東京一五六 電話浪花一四三、長一四四、一四五

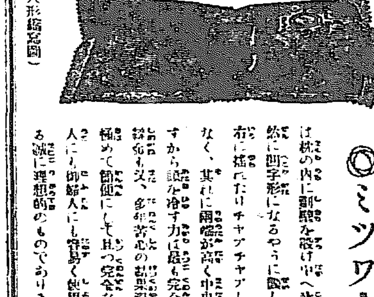
○ミツワ防汗帶
薄く品柔軟で少も邪魔にならず而して完全に防汗が出來る
ゴム入、メリヤス製＝日本ラバ商會鑑製
定價 大形 金壹圓 小形 金八拾錢



◎ミツワ防汗帶は、ゴムを中心として、最良の薄きメリヤスを以て、圖の如く作りたるものなるが故に、從來用ひ來りし、ヘチマの類にて作りたるもの、又は著しく嵩なるものと異なり、柔軟なる薄き布一重を圍ふのみなれば、嵩張り、肩凝り、窮屈の感じ少しもなく、夏季の薄物を召して、當用に至つて便利なり。
◎ミツワ防汗帶を、腋者の間に著すれば、如何なる大器の季節にても、決して汗の泌み出る憂ひなし。
▼夏季は自身に、それほどとも思はぬに、ミツワ防汗帶を一度用ふれば、防汗帶の內側に、滴るばかりの汗を含み居て、この汗が皆著物の帶に泌むかと思へば、實に今更驚きさへ感じる。一日にても、必ず自からミツワ防汗帶を用ふるに至るべし。
▼從來あせよけの類數多あれども、ヘチマにて作りたるものは嵩張りて、而かも汗を留むる隙となり、又は窮屈にて、防水布その他にて製したるものは、多く蒸れて、暑さを增し、汗多く出る、あせよけを圍ふ爲めに、却つて暑さを增す缺點は、誰人も皆知る處なり。
◎ミツワ防汗帶は、薄く、柔軟にて防汗帶を圍ふ感じなく、帽子、蹈、明石等の薄物の着物にも、少しも障礙にならず、汗は悉く防汗帶の內側に含み、決して表面へ泌み出る事なし。
◎ミツワ防汗帶は、數十回にても洗濯して使用する事を得、之を洗濯するには毎夜、淸水にてふり出し、竿にかけ置けば翌日の使用に差支なし。また三四日每に柔かきブラシにミツワ石鹸をつけて板の上にて靜かに擦で、泡立せ、淸水にてふり出し蔭干にすべし。但し洗ふ時に揉み又は日向干さぬやうすべし。

新案特許 純護謨製 大阪 宗田商店鑑製

○ミツワ水枕
凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可らず
定價 大形壹圓 中形八拾五錢 小形七拾錢 特製壹圓



(特製縮寫圖) (大形縮寫圖)

○ミツワ水枕は枕の內に凹壁を設け中へ氷水を入ると自然に凹字形になるやうに製してあります左右に搖れたりチャブチャブしたりすることなく、其れに兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。輾轉も又、多年苦心の結果漸く案出したる極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥 規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品 發賣元 ○丸見屋商店 東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、藥品、石鹸、香粧品小間物問屋 電話浪花四四八、四四九、四五〇番 振替東京七一〇〇番

寶捌― 全國到る處のミツワ石鹸販賣店若し最寄に取次店がなければ本舗へ直接注文あれ、郵便小包替か振替口座にて送金あれば(內地は送料不要)郵送す。代金引替小包便にても宜し、東京市內は假令一個にても配達す。市內係電話浪花四五〇番